ISSN 0289-8233

植調

第37巻第11号

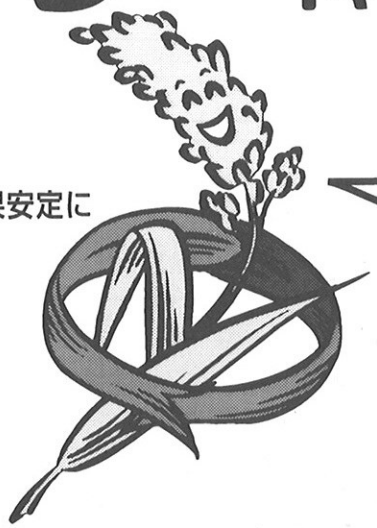
センボンヤリの種子（*Leibnitzia anandria* Turcz.）長さ7mm

財団法人　日本植物調節剤研究協会編

新規水田用初期除草剤

初 ベクサー® フロアブル 1キロ粒剤

®科研製薬(株)商標登録



低コスト稲作に!

特長

- ♦すぐれた経済性
- ♦中期剤・一発処理剤の効果安定に
- ♦水稲に対して安心
- ♦環境に対して安心

JAグループ 農協 全農 経済連 ®は登録商標です

三井東圧農薬株式会社
東京都中央区日本橋1-12-8

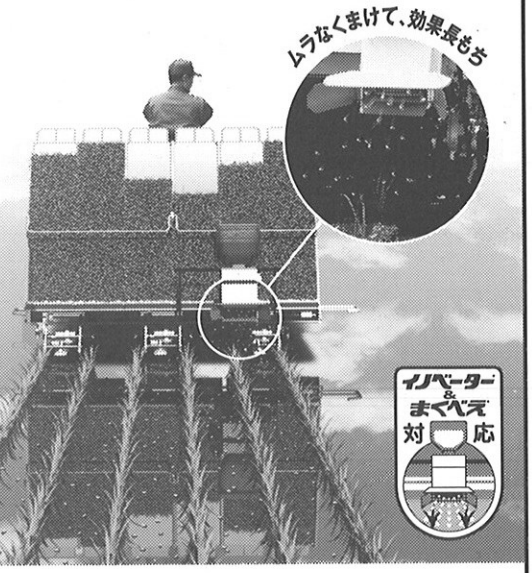
SU抵抗性雑草*も、田植同時におまかせ!

SU抵抗性ホタルイに! SU抵抗性アゼナ類に! SU抵抗性コナギに!

SU抵抗性雑草に効く、田植同時処理除草剤

バイエル

イノーバ® DX 1キロ粒剤



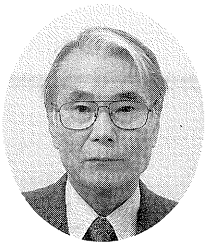
■田植後に行っていた従来の除草作業が省略できます。
■田植同時散粒機で均一散布が可能。安定した効果が期待できます。
■田植と同時に除草剤散布が完了。散布適期を逃しません。

®は登録商標

＊SU抵抗性雑草とは？ 多くの水稲用除草剤に含まれるSU剤(スルホニルウレア系除草剤)に、抵抗性を持つ雑草のことを「SU抵抗性雑草」と呼んでいます。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベル記載以外には使用しないで下さい。
●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

Bayer CropScience
バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108-8572
www.bayercropscience.co.jp



巻頭言

理科への興味と科学する心

(財)日本植物調節剤研究協会
評議員・北海道支部長
藤村稔彦

近年，子供達の自然科学に対する興味が薄いように思う。2002年には我が国で初めて，ノーベル賞に二人の科学者が選ばれるという快挙となったのに，である。

実際の生活の中で，どれだけ科学技術の恩恵に浴しているかは計り知れない。例えば，かっては自動車の運転に故障は付き物だったので，その構造をよく理解していなければまともに運転できなかった。しかし，現在は機械の信頼性が向上するとともに，電子技術で機械を制御することにより，運転中の障害は大幅に減少した。だから，構造などは知らなくても大きい支障はないのだろう。

私が理科という科目は面白そうだと感じ始めたのは，勉強など殆どせず友達と一緒に戸外で遊び回っていて，動植物や天気などに興味を持ったためだと思う。虫や魚を捕まえたり，野の花をちぎったり穂を抜いたりの純粋な遊びであり，その中で驚いたり面白がったりを重ねてきた。理科（自然科学）は再現性のある一定の法則に基づく学科だから，基本を理解すれば，関連事項についても理解しやすいのが取り柄であり，勉強も特に苦労とは感じなかったように思う。

今，何故理科嫌いなのか理由は判らないが，受験に向けて理解する暇もないまま，ただ暗記させられる学習の形態や，外での遊びが減らざるを得ない環境にもあるように思う。

無（減）農薬や有機農産物が良いのだという漠然とした意識が，大きいうねりとなって押し寄せているが，根拠は必ずしも明確ではなさそうだ。特に，これらの農産物はおいしいという評価は，噴飯ものであり根拠は薄い。

農薬の使用はコストの面からも環境に及ぼす影響等からも，必要最小限に止めるべきであることは論を待たない。また，カーソンの沈黙の春（Silent Sprinng）を無視するものでもない。世の中に絶対に安全というものはないことを肝に銘じつつ，必要のある資材は使わなければならない。

昨年9月に，野菜供給安定基金の委託を受けて，植調協会が調査し取りまとめた「野菜作用植物成長調整剤等安全情報等調査事業」報告書にも，「…多くの消費者が農薬についての認識が浅薄で，農薬の安全性が使用基準を遵守することで担保できるという前提を理解していないか，（中略）疑っていることによると推察できる」とし，「農薬の安全性について理解を得る機会を作ることが必要」と結んでいる(同書P.4)。

冷静にこの事実を受け止め理解するためには，科学的な考え方が不可欠である。基本的には，結果がどのような原因に基づいているかを知ろうとする意欲と，その現象は条件が整えば再現性があるだろうか，という感覚を持つことであろう。このことはマスコミなどの取材にも通ずるのだが，ジャーナリストも全てがこのような感性を持っているとは限らないようだ。その結果，マスコミにも再現性が疑われるような記事が流れることになる。

学校でも日常生活でも，科学する心が育まれるような条件を整えるよう，いろいろな場面で働きかけるようにしたいものである。その積み重ねで冷静な判断ができるようになれば，農薬の必要性についての理解も深まるだろうし，'93年の冷害のときのコメパニックや，BSE騒ぎの際に牛肉消費が極端に減少するなどの騒動も，なくなるのではなかろうか。

目　　次

（第 37 巻　第 11 号）

巻　頭　言
理科への興味と科学する心 …… 1
＜㈶日本植物調節剤研究協会　評議員
北海道支部長　藤村稔彦＞

農薬取締法改正～一年が経過して …… 3
＜農林水産省消費・安全局農産安全管理課
農薬対策室　田雑征治＞

寒冷地におけるタイヌビエの発生終期の推定と
その除草剤散布指標への応用 ……11
＜独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構
東北農業研究センター　内野　彰＞

平成 15 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤
試験成績概要……18
＜㈶日本植物調節剤研究協会　技術部＞

平成 15 年度水稲作関係除草剤試験成績
概要……23
＜㈶日本植物調節剤研究協会　技術部＞

平成 15 年度水稲関係生育調節剤試験成績
概要（訂正版）……93
＜㈶日本植物調節剤研究協会　技術部＞

訂正とお詫び

平成15年度水稲関係生育調節剤試験成績概要において誤りがありましたので93～94頁に再掲載してお詫びいたします。

よりよい農業生産のために。三共の農薬

●時代先どり、ジャンボな省力
投げ込むだけの一発処理除草剤
クサトリエース® Hジャンボ® Lジャンボ®

●効きめの長～い
初・中期一発処理除草剤
ラクダー® Hフロアブル・Lフロアブル

●プロにおまかせ…
ホタルイ・アゼナ!!
ラクダープロ® フロアブル

●三共の優れた製剤技術から生まれた
グリホサート液剤
三共の草枯らし®

●どっしり安定、しっかり効くゾウ
水稲用初・中期一発処理除草剤
ウィードレス® A1キロ粒剤36 1キロ粒剤51

●使いやすい
水稲用初期一発処理除草剤
三共スラッシャ® 粒剤 1キロ粒剤

●移植前後に使える
水稲用初期除草剤
シング® 乳剤

●ノビエ3.5葉期まで使える
新しい水稲用中期除草剤
ザーベックス® DX 1キロ粒剤

●SU抵抗性の
アゼナ・ホタルイに!
クサコント® フロアブル

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本部は小児の手の届く所には置かないでください。

三共アグロ株式会社
東京都文京区本郷4-23-14

農薬取締法改正　～一年が経過して～

農林水産省消費・安全局農産安全管理課 農薬対策室　田雑征治

Ⅰ　はじめに

平成14年12月に改正された農薬取締法が平成15年３月10日から施行され，この３月で施行から１年が経過することになる。この農薬取締法の改正は，13年９月のＢＳＥ問題発生以降，中国からの輸入野菜の残留農薬問題，食品表示偽装事件等が続き，食品の安全性に関する国民の関心が高まってきていた時期に発生した平成14年夏の無登録農薬問題が契機となったものである。また，15年６月には食品安全基本法の制定と関連法改正が行われたが，農薬取締法も追加の改正が行われ，同年７月１日からその一部が施行されている。本稿では，農薬取締法改正の概要を改めて簡単に紹介し，その後現在に至る農薬行政等の取組状況と今後の展開について紹介したい。

Ⅱ　14年改正

1　背景

平成14年７月に農林水産大臣の登録を受けていない農薬を販売していた２業者が農薬取締法違反等の容疑で逮捕されたことを契機に，無登録農薬が全国的に販売・使用されている実態が明らかとなり，44都道府県において約270の営業所（個人を含む）が約4,000戸の農家に10種類の無登録農薬を販売していたことが判明した。この結果，消費者の国産農産物への信頼を著しく損ない，無登録農薬が使用された農作物の出荷自粛などの事態を招いた。

このため，こうした事態を防ぐために，①無登録農薬の製造及び輸入の禁止，②無登録農薬の使用禁止と農薬使用基準の遵守義務化，③罰則の強化等を内容とする「農薬取締法の一部を改正する法律案」が平成14年10月25日に閣議決定され，第155回国会（臨時国会）に提出された。同法案は，衆議院，参議院の審議を経て，同年12月11日に公布され，平成15年３月10日に施行された。

2　14年改正法の主な改正点

（１）無登録農薬の製造及び輸入の禁止

農薬は製造業者又は輸入業者から販売業者へ，そして販売業者から農家に販売されるのが通常であることから，改正前は業者を通じた販売を規制していたが，個人輸入等による無登録農薬の販売や使用の事実が判明し，業を営む者を対象とした販売段階のみの規制では違法な農薬の流通を防止することが困難であることが明らかとなった。このため，個人も含め農薬の製造者又は輸入者は，農林水産大臣の登録を受けなければ，農薬を製造し若しくは加工し，又は輸入してはならないこととした。

（２）特定農薬（特定防除資材）制度の創設

特定農薬は，その原材料に照らし農作物等，

人畜及び水産動植物に害を及ぼす恐れがないことが明らかなものとして農林水産大臣及び環境大臣が指定する農薬であり，無登録農薬の製造，輸入，使用を禁止したことに伴い，安全性が明らかなものにまで登録を要求する過剰規制を回避するために作られた仕組みである。

平成14年末，特定農薬に関して都道府県及びインターネットを通じて寄せられた情報は延べ約2900件あり，これらをもとに，専門家による検討会を経て農業資材審議会の意見を聴いた結果，とりあえず①重曹，②食酢，③使用する場所と同一の都道府県で採取されたテントウムシ等の天敵を特定農薬として指定することとした。

また，この制度の趣旨をわかりやすくするために，特定農薬を「特定防除資材」と呼ぶこととした。

（3）農薬販売に関する規制の見直し

農薬を販売する者は，登録番号等の真実な表示のある農薬及び特定農薬以外の農薬を販売してはならないこととした。また，無登録農薬の販売等を行った販売者に対し，農薬の販売の制限又は禁止を行う権限に属する事務を都道府県知事が行うことができることとした。

（4）農薬輸入の媒介を行う者の虚偽宣伝の禁止

近年，輸入代行業者が，我が国で登録のない農薬を登録を受けていると誤認させるような宣伝を行って農家に購入を勧めるケースが増加していたため，輸入の媒介を行う者についても虚偽の宣伝の禁止対象に加えて取締を行うこととした。

（5）使用禁止農薬の創設

旧法では使用禁止農薬の規定はなかったが，無登録農薬の使用を禁止するため，試験研究や緊急防除を除いて，容器又は包装に登録番号等の真実な表示のある農薬（販売禁止農薬を除く）及び特定農薬以外の農薬の使用を禁止することとした。

なお，ＤＤＴやドリン剤，ダイホルタン等の21農薬については，農林水産省令で販売を禁止しており，改正法で使用も禁止することとなった。

（6）農薬使用基準の遵守義務化の創設

使用が認められている農薬であっても，使用方法を誤れば人畜等への被害が生じるおそれがあることから，農薬使用者が遵守すべき基準を農林水産大臣及び環境大臣が省令で定め，これに違反する農薬の使用を禁止することとした。

農薬使用基準のうち，遵守義務となっている事項で，すべての農薬使用者に関する事項としては，食用農作物又は飼料作物への使用に当たり，農薬の容器又は包装の表示事項に関して，適用作物以外に使用しないこと，使用量又は使用濃度並びに使用時期を守ること，総使用回数を超えて使用しないことである。また，毒性の強い農薬を使用することが多い倉庫などでのくん蒸を行う者，周辺への影響を配慮すべき航空散布を行う者やゴルフ場で農薬散布を行う者には，農薬使用計画を農林水産大臣に提出することを義務づけた。

また，努力義務とした事項は①有効期限切れ農薬を使用しないこと，②農薬を使用した日や場所，作物，農薬の種類や量を記帳すること，③航空散布や住宅地周辺での散布で，農薬が飛散しないようにすること，④水田で使用する農薬の止水期間を守ること，⑤土壌くん蒸剤の被覆期間を守り揮散防止に努めることである。

（7）罰則の強化

改正前は，自然人は１年以下の懲役又は５万円以下の罰金，法人は５万円以下の罰金とされ

ていたが，無登録農薬の販売などの違法行為が後を絶たず，抑止力が不十分であるとされたため，他法の水準を考慮し，自然人は３年以下の懲役若しくは100万円以下の罰金，又はこれを併科することとした。法人は，無登録農薬の製造，輸入若しくは販売，又は販売禁止農薬の販売に関する規定に違反した場合，一億円以下の罰金とした。

Ⅲ　15年改正

１　背景

農薬取締法は，平成15年の第156回国会（通常国会）において再度一部改正を行い，①販売禁止農薬，無登録農薬を販売した者に対する回収その他の措置命令，②農薬の登録，使用基準の策定と残留農薬基準との整合性を図るために必要な規定を内容とする農薬取締法の改正が，「食品の安全性確保のための農林水産省関係法律の整備等に関する法律案」の一部として平成15年２月７日に閣議決定され，６月４日に国会を通過し，６月11日に公布された。

２　15年改正法の主な改正点

（１）違法な農薬が販売された場合の回収命令等

先の臨時国会で指摘された事項を踏まえ，無登録農薬や販売を禁止した農薬が販売された場合に，農林水産大臣がその販売者に対して，販売された農薬の回収を図ることやその他必要な措置を命ずることができることとした。

この回収命令に違反した者には，３年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科せられることとされた。なお，法人の場合は１億円以下の罰金が科せられることとした。

（２）農薬の登録と残留農薬基準の整合性確保

平成14年４月に公表された「ＢＳＥ問題に関する調査検討委員会報告」で指摘された農薬登録と食品衛生法の残留農薬基準の同時設定を行うため，農薬の登録に関して環境大臣が行う基準の設定，改廃に際し，厚生労働大臣への意見聴取を義務付けることとした。

また，食品安全基本法の制定により食品安全委員会が新たに設置されたことから，今後は，厚生労働大臣が食品安全委員会にその農薬の食品健康影響評価（リスク評価）について意見を求め，その結果をもとに，ＷＴＯ通報等の諸手続を経て，食品衛生法に基づく残留農薬基準を制定してから，農林水産大臣が登録行為を行うこととなった。

（３）農薬以外の除草剤（いわゆる非農耕地用除草剤）の表示規制

今回の法改正に係る審議において，衆議院で，いわゆる非農耕地専用の除草剤の表示について，購入者が農薬と誤って購入しないよう規制する措置が盛り込まれた。

具体的には，農薬でない除草剤を販売する者は，その容器又は包装に農薬として農作物等に使用できない旨の表示を義務付けるとともに，小売店においても店頭での同様の表示を義務付けることとなった。

なお，詳細な表示については，農林水産省令で定め示すことになる。

この表示義務に従わないときは，農林水産大臣は必要な措置をとるよう勧告できることとされており，その勧告に従わないときは，命令ができることとされた。この命令にも従わないときは，３年以下の懲役又は100万円以下の罰金が科せられる。

（４）施行

15年の改正は，前述の（１）及び（２）は15

年の７月１日から施行されているが，（３）については，16年６月11日からとなっている。

Ⅳ　法改正以降の農薬行政の主な取組事項

（１）マイナー作物対策

14年改正では，食品の安全性確保を図るために，使用した農薬が残留基準を超えることがないよう，決められた対象作物や使用方法の遵守を義務化した。しかしながら，栽培の少ない地域特産的なマイナー作物等は，農薬メーカーにとっては作物残留試験などの経費負担が大きくなることから，適用申請がなされない傾向にあることから適用農薬が少なく，病害虫の防除に農薬を使えば罰則の対象になりかねない。農林水産省では，これまでもマイナー作物への農薬適用拡大を支援してきたが，現在２つの対策を進めている。

１つ目は，形状，利用部位等から類似性の高い作物としてグループ出来るものを「非結球アブラナ科葉菜類」，「非結球レタス」等11のグループにまとめ，各メーカーから登録変更申請を受け付けている。また，天敵やフェロモン剤については，「野菜類」といった単位で登録できるようにしている。

２つ目は，グループ化できないものについて，作物残留試験等が実施されて登録変更が行われるまでの当分の間，農薬使用基準の適用作物に経過措置を設け，安全な使用方法を設定する都道府県知事から申請された作物に対し，農林水産大臣が承認する仕組みを作った。承認された作物と農薬の組み合わせでの農薬使用は，都道府県に要望し指導を受けた者のみが行えることとしている。承認された作物と農薬の組み合わせは，15年12月に経過措置の承認申請が締め切られた時点で最終的に9,000件に達したが，この経過措置は，なるべく早期（開始後２年程度を目途）に終了することを想定しており，各都道府県で作物残留試験等が短期間で行われるよう関係者の協力をお願いしているところである。特にＪＡ全農においては複数県で同様の組み合わせがあるものについては協力して試験を行うよう取り組んでいるところであり，都道府県でもこれに協力して早期にデータが得られるよう取り組んでいただきたいと考えている。特に多数の経過措置を申請した都道府県は，自らの問題として登録拡大の具体策についてよく検討を行い早急な取り組みを行っていただきたいと考えている。

（２）特定防除資材（特定農薬）の指定

平成14年末の調査で寄せられた情報をもとにした農業資材審議会における検討の結果，「重曹」，「食酢」及び「使用する場所と同一の都道府県で採取された天敵」の３種類が特定農薬として指定されたが，他の多くの資材は，農薬としての効果や安全性が不明であるとして，農薬かどうかも含めて判断が保留された。

判断が保留されたものについては，農薬としての効果を謳って販売されるものは従来どおり取締りの対象とするものの，使用者が自己の判断と責任で使用することは可能であり，今後，その効果と安全性に関する評価を行うこととされた。

この方針に基づき，平成15年度には，特定防除資材指定のための評価に関する指針の検討を行い，15年６月に開かれた農業資材審議会農薬分科会において一部の修正を条件に当該評価指針案が了承された後，８月にパブリック・コメントを求め，平成16年２月現在，指針の正式決定に向け作業を行っているところである。今後，

指定に際しては，評価指針に基づき，公的機関における複数の薬効試験のデータや，動物実験等による安全性試験のデータが必要となること思われる。この指針を踏まえて評価可能なデータが得られた資材について，順次評価を行い，指定の検討を行うこととしているが，具体的な指定に当たっては，食品安全委員会に食品健康影響評価について意見を求めた上で，農業資材審議会の意見を聴いて農林水産大臣と環境大臣が指定することとなる。

（3）農薬の適正な使用・販売に向けた取組

①農薬使用基準の遵守に係る指導

15年改正により，農薬使用基準に違反した農薬の使用が禁止されることとなったが，この措置は広く農薬使用者すべてに係る事項であるため，国，都道府県及び関係団体等による農薬取締法の改正や農薬使用基準に関する周知活動が，様々なメディアや集落勉強会等の様々な手段を用いて実施された。改正法の施行後，農薬使用基準違反事例（適用外の農作物への使用等）が散見されるが，全体的には農薬使用の記帳が広く普及しつつあるなど，農薬の適正使用に関する意識は相当程度高まっていると思われる。農林水産省でも，毎年６月に実施している農薬危害防止運動により農薬の適正使用に関する普及啓発を行っているほか，地方農政事務所（後述）による，野菜や果樹等における農薬使用に関する点検業務を全国的に実施しているところである。

②住宅地における農薬使用

平成15年９月には，住宅地などにおける農薬使用について，農薬の飛散による住民の方々や子供たちに健康被害を生ずることがないよう，農薬使用基準の努力規定に基づく指導通知を発出し，関係機関に指導をお願いしたところである。この通知では，不必要な農薬の散布はできるだけ抑制するとともに，やむを得ず農薬を使用する場合の具体的な注意事項を挙げている。

③農薬の現地混用

農薬の現地混用については，混合剤として登録されている農薬の使用とは異なるため，農薬使用時の安全確保等の徹底の観点からその留意点等について周知を図っているところである。この周知内容としては，現地混用を行う際に農薬の混用に係る表示事項を厳守すること，試験研究機関がこれまで行った試験等により得られた知見を十分把握した上で，現地混用による危害が発生しないよう注意すること，これまでに知見がない農薬の組合せで現地混用を行うことは避けること等を示している。

（4）埋設農薬

残留性が問題となった有機塩素系農薬（ＢＨＣ，ＤＤＴ，ドリン剤）については，昭和40年代後半に地中への埋設処理の指導を行った。その後平成14年に，我が国がPOPs条約（残留性有機物質の管理に関する条約）を批准したことを踏まえ，埋設農薬の適正な管理及び処理を進めるべく対策を講じてきたが，処理技術の開発を受け平成16年度以降は最終処理を進めるべく，必要な予算措置を講じたところである。

（5）リスクコミュニケーション

食品安全行政を的確に進めるには，行政が消費者・生産者・事業者などの関係者に的確で分かりやすい情報を積極的に提供し，意見の交換に努め，関係者の懸念や意見を施策に反映していくことが重要である。こうした取り組みであるリスクコミュニケーションを農薬行政につい

ても推進することが重要となっており，平成15年９月には農林水産本省で残留農薬をテーマにしたリスクコミュニケーションの会合を，行政，消費者，生産者の参加の下で行ったところである。詳細は農林水産省のホームページに掲載している。

Ⅴ　食品安全関係行政機関の組織再編及び関連の制度改正等

平成13年９月の牛海綿状脳症（ＢＳＥ）問題以来，牛肉をはじめとする多くの食品の偽装表示や輸入野菜の残留農薬問題等，食品の安全・安心に関する問題が頻発し，消費者・国民の食品の安全性への不安が高まった。その中で，ＢＳＥ調査検討委員会の報告書が平成14年４月に出され，この報告書の中で食品安全行政を推進する組織体制の整備等の方向性が示された。

この報告書を踏まえ，「食品安全行政に関する関係閣僚会議」で検討が行われ，同年６月に，食品安全基本法の制定，食品安全委員会の設置，農林水産省及び厚生労働省の既存組織の見直し等の食品安全行政の見直しについて決定された。

第156回国会において，食品安全基本法をはじめ，食品安全関連の法律等の制定・改正についての審議が行われ，平成15年７月１日に，食品安全委員会の新設，農林水産省においては消費・安全局の設置，食糧事務所の廃止・地方農政事務所への再編等が行われた。以下にその概要を述べる。

（１）食品安全基本法と食品安全委員会

食品安全基本法の基本理念では，食品の安全性の確保のための必要な措置が農林水産物の生産から食品の販売に至る一連の食品供給の行程の各段階において適切に講じられることとされているほか，国や地方公共団体，食品関連事業者の責務を定めている。また，食品安全基本法に基づき，リスク評価やそれに基づく勧告等を行う組織として，内閣府に食品安全委員会が設置された。食品安全委員会は，委員７名（うち３名は非常勤）からなる組織で，その下に農薬を含む多数の専門委員会が設置されている。また，その業務としては，食品のリスク評価やその結果に基づく勧告をすること，リスクコミュニケーションの企画・実施等が規定されており，リスク評価については，食品衛生法に基づき農薬残留基準を定めるときや農薬取締法に基づき特定農薬を設定・変更するとき等厚生労働大臣や農林水産大臣からの諮問によりリスク評価を行うほか，食品安全委員会自らの判断で行うこととなっている。委員会は，平成15年７月１日の発足以来，原則として毎週１回委員会が開催されている。

（２）農林水産省の組織再編

食品安全委員会の新設と同時に農林水産省の組織の再編が行われた。食の安全・安心に対する国民の信頼の回復と消費者の視点を重視する行政を推進するため，本省に食品安全行政と消費者行政を総合的に担う「消費・安全局」を作り，農薬をはじめ，飼料，動物用（水産用も含む）医薬品の使用の規制，家畜や植物防疫，リスクコミュニケーションの実施，ＪＡＳ制度による品質や表示の適正化等の業務を行う。また，食糧庁を廃止し，食糧庁の出先機関であった食糧事務所を食糧業務に加えて食品安全業務を実施する「地方農政事務所」として再編し，本省・地方組織合わせて4,500名の体制で食品安全行政，消費者行政に取り組むこととなった。

（３）食品衛生法の改正と厚生労働省の組織再編

農薬に関連する法律では，食品衛生法も平成15年の第156回国会で，ＢＳＥ問題や偽装表示問題などを契機として食品の安全に対する国民の不安や不信の高まりを背景に，食品の安全の確保のための施策の充実を通じ，国民の健康の保護を図るために改正された。

改正は，①国民の健康の保護のためのより積極的な対応，②事業者による自主管理の促進，③農畜水産物の生産段階の規制との連携の３つの視点に基づき実施された。

この中で，特に農薬に係る見直しは，農薬等の残留規制の強化（ポジティブリスト制の導入）である。

食品衛生法上の現行の規制は，残留基準が定められていない農産物については農薬等が残留していても基本的に流通の規制はないが，ポジティブリスト制の移行後（改正法公布後３年以内に施行予定）は，人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が一定量を告示することとなっており，この量を超えて農薬等が残留する食品の流通が禁止されることとなる。一方，人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるもの（特定農薬等を想定）はポジティブリスト制の対象外となる。

このことにより，あらゆる食用農作物に含まれるあらゆる種類の農薬（ポジティブリスト制の対象外となる農薬を除く）に残留基準値が定められることとなり，特に，ある食用農作物について我が国や海外において適用となっていない農薬の残留基準値は，適用となっている農薬の残留基準値に比べ，低いレベルの一律の基準値となるため，農薬の適用外使用や農薬の飛散が原因で，農作物が食品衛生法の違反となる可能性が高くなる。

このため，この食品衛生法の改正により，食用農作物に対する農薬の適正使用の重要性がこれまで以上に高くなってきている。また，先に述べたマイナー作物対策のうちの経過措置を今後２年以内に終了するとしているのは，このポジティブリスト制の施行が今後３年以内に予定されているためである。

この法改正を踏まえ，残留農薬基準の暫定基準案が平成15年10月に公表されているところであり，今後関連の基準が逐次整備されていくこととなろう。

なお，厚生労働省も，食品の安全性の確保という観点から所要の体制整備を行い，医薬食品局，健康影響が広範にわたる重大な事故事件への対応や輸入食品対策，リスクコミュニケーションの推進，食品安全委員会との連携・調整などリスク管理を行う厚生労働省としての体制の整備を行った。

Ⅵ おわりに

農薬は，食品の安全という観点で消費者から強い関心が持たれており，今回の二度にわたる改正は，そうした消費者の声に応えたものと言える。安全が確認された登録農薬を決められた使用方法で使うことにより，農薬の残留などの心配がなく，農産物の安全性が確保されるわけで，このことは，国内農産物の信頼を高める上で重要なことである。このことを農薬使用者に十分理解してもらい，適正な使用を行うようお願いしたい。

また，使用基準にもあるとおり，農薬の飛散を防止する措置を行っていただきたい。使用していないはずの農薬が作物に残留していたり，周辺住民とのトラブルのもとになるからである。このためには，散布者が風向きや剤型の選択等

に注意することはもちろん，関係メーカーには農薬の製剤改良や散布機械の改良をお願いしたい。

農林水産省としては，改正農薬取締法に基づく農薬行政を進めていくために，改正の趣旨や内容の周知徹底を図るとともに，農薬の正確な知識の普及，適正使用に向けた指導を一層行っていくこととしている。国産農産物の信頼を回復し，高めていくために，農薬使用者，地方自治体，関係機関の方々にご理解とご協力をお願いしたい。

登録情報を含めた農薬の最新情報については，農林水産省ホームページ(http://www.maff.go.jp)「農薬コーナー」で提供しているので，使用の前には是非ご確認いただきたい。

日本農薬学会第21回農薬生物活性研究会シンポジウム

日時　：平成16年4月23日（金）　10：00～17：00
場所　：東京農業大学校友会館グリーンアカデミーホール（東京都世田谷区桜丘3-9-31）
小田急線経堂駅または千歳船橋駅から徒歩15分

プログラム（講演題目及び講師の一部は変更される可能性があります）

1. *Trichoderma* 属菌によるイネ種子伝染性病害の生物防除と企業化
渡辺　哲　氏　クミアイ化学工業㈱
2. 新規殺菌剤チアジニルの生物活性の特徴
山本好伸　氏　日本農薬㈱
3. 植物病原糸状菌の侵入器官分化とシグナル伝達
久保康之　氏　京都府立大学

……昼　食……

4. 食虫植物ハエトリソウの化学防御物質プルンバギンとその作用機構
高田　晃　氏　慶応義塾大学
5. ジノテフランのカメムシ類に対する吸汁阻害
桐谷幸生　氏　三井化学㈱
6. ＳＵ抵抗性雑草の簡易検定法
濱村謙史朗　氏　㈶日本植物調節剤研究協会
7. ブラシノステロイドの作用機構と受容体
浅見忠男　氏　㈱理化学研究所

参加費　：一般　¥3,000-　学生　¥1,000-（当日受付，講演要旨集代金を含む）
連絡先　：〒243-0034　厚木市船子1737　東京農業大学農学部農学科植物保護学研究室
シンポジウム事務局　根岸寛光 Tel:046-270-6498, E:negishi@nodai.ac.jp

寒冷地におけるタイヌビエの発生終期の推定とその除草剤散布指標への応用

独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構　東北農業研究センター　内野　彰

寒冷地の水田では，他の地域と比較して雑草の発生が不斉一であることや水稲の初期生育が緩慢なことから，他の地域よりも除草剤の使用回数が多く，１作あたりの除草剤使用量が多くなる傾向にある（伊藤1996）。しかし実際には，年次や水田によって比較的雑草の発生が揃う場合もあると考えられ，そうした場合にも慣例的に除草剤の使用回数を多くすると必要以上の除草剤散布を行うことになる。寒冷地の雑草の発生生態を明らかにし，その発生予測が可能になれば，気象条件の異なる年次や水田にあわせて雑草発生に必要とされるだけの除草剤を散布することができ，より環境負荷の少ない雑草防除が可能となる。

除草剤散布の指標となるノビエの葉令進展については，積算気温あるいは積算水温と高い相関関係があることが報告されている（土井ら1977，加持ら1998，森田1999，村上ら1990，1987，鈴木ら1975a）。その一方で，散布する除草剤の残効期間の指標となるべきノビエの発生終期に関して論じた報告はあまり多くない（加持ら1998，鈴木ら1975b，田中1987）。加持ら（1998）は暖地水田におけるノビエの発生消長を調べ，有効積算水温とノビエの累積発生率との間で回帰分析を行い，回帰式を求めている。それによると，発生の前半と後半がそれぞれ別の回帰直線に良く合致し，発生の後半が特に良く直線に一致することが示されている。この発生の後半と有効積算水温との間の高い相関関係は，発生終期も水田の温度に大きく影響されることを示唆している。

我々は，環境負荷低減へ向けての除草剤散布指標策定を目指し，寒冷地の主なノビエであるタイヌビエ（*Echinochloa oryzicola* Vasing.）の葉令進展と発生終期について水田地温との関係を調査し，その結果から得た回帰式をもとにタイヌビエの発生期間から要求される除草剤の残効期間を推定するモデルを検討した（内野ら2002a）。そして，この推定モデルに北日本の水田地温のデータをあてはめて推定精度を検討し，各水田のタイヌビエ防除に必要な除草剤残効期間を推定した（内野ら2002b）。本稿では，これらの研究について紹介する。

１．試験の概要

試験は1997～1999年の３年間にわたり東北農業研究センター（秋田県大曲市）の埴壌土水田において行った。地温の異なる区を設定するため，移植時期の異なる３筆の水田（移植時期：５月上旬・中旬・下旬）に用水を常時掛け流しにし，水口と水尻に調査区を設けてタイヌビエの葉令進展，発生消長および地温を調査した。タイヌビエの発生本数は1300～3900本/m²で，十分な発生本数が得られた。

2．回帰式による推定モデルの作成

（1）タイヌビエの葉令進展と地温との関係

タイヌビエの葉令進展は地温の低い水口で遅く，地温の高い水尻で早い傾向があった。すなわち，地温と各葉令に達するまでの期間との間には，地温が高くなるほど各葉令に達するまでの日数が短くなるという，負の相関関係が見られた。そこで解析のしやすさから，温度との関係が正の相関になるように，期間の指標として代かき日から各葉令に達するまでの日数(DL)の逆数(1/DL)をとり，これを解析に用いた。1/DLをYとし，その期間の地温の統計値をXとして回帰分析をしたところ，その期間の平均地温(TA)をXとした場合に2葉期から5葉期までの各葉令に関して高い決定係数(r^2)が得られ（表－1），表－2に示すような回帰式が得られた。

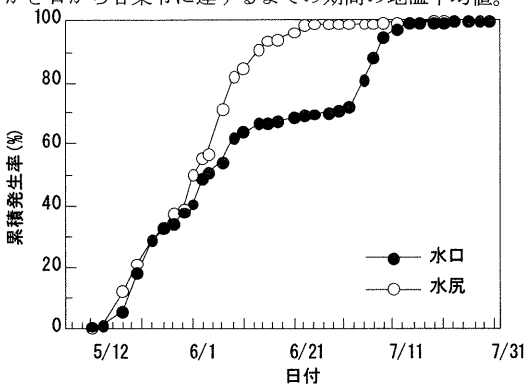
（2）タイヌビエの発生終期と地温との関係

タイヌビエの発生消長も温度の影響をうけ，地温の高かった水尻と比較して地温の低い水口で比較的長期間にわたった（図－1）。このように発生終期までの日数とその期間の地温との間にも，葉令の場合と同様に負の相関関係が認められたため，代かき日から発生終期に達するまでの日数（DE）の逆数（1/DE）をYとし，その期間の地温の統計値をXとして回帰分析を行った（表－3）。全ての発生が終了する日（100%の発生が終了する日）は変動が大きいことから，発生終期として全体の90%が発生した日，95%が発生した日をそれぞれ90%発生終期，95%発生終期として解析した。回帰分析の結果，1/DEは発生終期に達するまでの日最高地温平均値(TM)をXとして回帰分析を行った場合に，各年次を通して最も高いr^2を示した。地温平均値，地温日格差平均値などは，年次によって高いr^2が得られた場合もあったものの，低い年次もあり，年次変動が大きかった。こうしたことから，TMをXとして1/DEをYとして回帰分析を行った。1/DE=aTM+b（aは回帰係数，bは定数項）という回帰式では残差に一定の傾向がでたため，log(1/DE)=aTM+bという回帰式を用

表－2　タイヌビエの葉令進展に関する回帰式

葉令	回帰式	決定係数(r^2)
2葉期	1/DL=0.0109×TA－0.127	0.742
2.5葉期	1/DL=0.00761×TA－0.0813	0.713
3葉期	1/DL=0.00554×TA－0.0541	0.794
4葉期	1/DL=0.00384×TA－0.0335	0.712
5葉期	1/DL=0.00312×TA－0.0269	0.723

DL：代かき日から各葉令に達するまでの日数，TA：代かき日から各葉令に達するまでの期間の地温平均値。



図－1　秋田県大曲市の用水掛け流し水田におけるタイヌビエの発生消長（1999年の5月上旬移植水田における調査結果）

表－1　タイヌビエの各葉令に達するまでの期間に対する回帰分析結果

X	葉令	年			
		1997	1998	1999	1997-1999
地温平均値	2葉期	0.800***	0.728**	0.967***	0.742***
	2.5葉期	0.822***	0.656*	0.972***	0.713***
	3葉期	0.864***	0.698**	0.987***	0.794***
	4葉期	0.700**	0.787**	0.932***	0.712***
	5葉期	0.716**	0.892***	0.937***	0.723***

タイヌビエの各葉令に達するまでの代かき日からの日数の逆数(1/DL)をYとし，その期間の地温平均値をXとした場合の回帰分析結果を表示した。値は決定係数（r^2）。1997～1999は3年間のデータをまとめた場合の分析結果。*，**，***はそれぞれ，F検定で5%，1%，0.1%有意であることを示す。

表－3 タイヌビエの発生終期に達するまでの期間に対する回帰分析結果

X	発生終期	年			
		1997	1998	1999	1997-1999
地温平均値	95%	0.748***	0.587*	0.114	0.561***
	90%	0.648**	0.116	0.002	0.270**
地温日較差平均値	95%	0.452*	0.677**	0.846***	0.607***
	90%	0.416	0.759**	0.821**	0.646***
日最高地温平均値	95%	0.817***	0.885***	0.943***	0.863***
	90%	0.801***	0.841***	0.887**	0.821***
日最低地温平均値	95%	0.215	0.203	0.068	0.000
	90%	0.092	0.490	0.342	0.088

タイヌビエの発生終期に達するまでの代かき日からの日数の逆数(1/DE)をYとし，その期間の地温平均値，地温日格差平均値，日最高地温平均値，日最低地温平均値のそれぞれをXとした場合の回帰分析結果を表示した。値は決定係数(r^2)。発生終期は全発生数の95%，90%の発生が終了した日とし，それぞれ計算した。1997～1999は3年間のデータをまとめた場合の分析結果。*,**，***はそれぞれ，F検定で5%，1%，0.1%有意であることを示す。

表－4 タイヌビエの発生終期に達するまでの期間に対して自然対数を用いた場合の回帰分析結果

発生終期	年			
	1997	1998	1999	1997-1999
95%	0.876***	0.901***	0.947***	0.877***
90%	0.874***	0.882***	0.930***	0.860***

タイヌビエの発生終期に達するまでの代かき日からの日数の逆数の自然対数{log(1/DE)}をYとし，その期間の日最高地温平均値(TM)をXとした場合の回帰分析結果を表示した。値は決定係数(r^2)。発生終期は全発生数の95%，90%の発生が終了した日とし，それぞれ計算した。1997～1999は3年間のデータをまとめた場合の分析結果。***はF検定で0.1%有意であることを示す。

表－5 タイヌビエの発生終期に関する回帰式

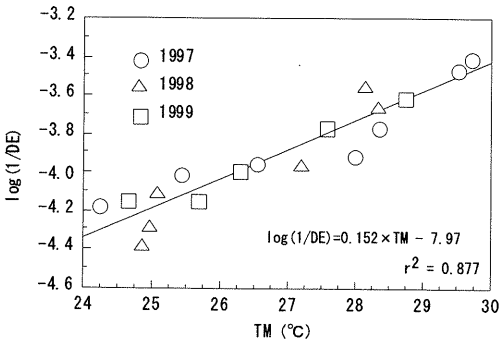
発生終期	回帰式	決定係数(r^2)
95%	log(1/DE)=0.152×TM－7.97	0.877
90%	log(1/DE)=0.196×TM－9.06	0.860

DE：代かき日から発生終期に達するまでの日数，TM：代かき日から発生終期に達するまでの期間の地温平均値。

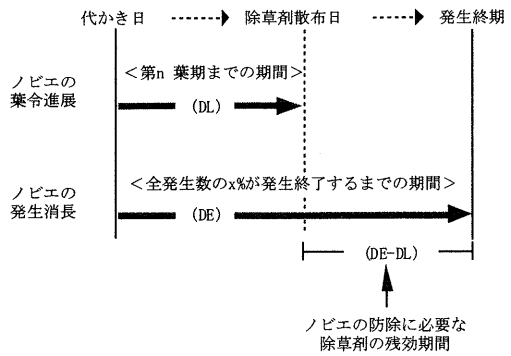
い，これにより，残差に一定の傾向が無くあてはまりのよい回帰式を得る事が出来た（表－4，表－5）。図－2には代表例として95%発生終期での回帰式と実測値を示した。

（3）回帰式に基づいた推定モデルの検討

通常，「初期剤」あるいは「初期，初中期一発処理剤」として使用される水稲用除草剤は，ノビエの葉令を指標として散布する場合が多い。従ってノビエの発生生態から見た場合，雑草防除に必要とされる除草剤の残効期間は葉令進展と発生終期によって決まることになる（図－3）。タイヌビエの各葉令に達する日と発生終期に達する日の代かき日からの日数は，上記の回帰式によって地温をもとにそれぞれDL，DEとして推定することができ，図－3に示すように雑草防除に必要とされる除草剤残効日数もDE-DLとして推定できる。寒冷地でノビエの主体がタイヌビエである水田では，上記式を使うことにより，水田地温さえ分かれば各水田における除草剤の必要残効日数が推定できることになる。除草剤適正散布にむけては，この日数が各水田におけるの一つの指標となるといえる。



図－2 タイヌビエの95%発生終期におけるlog(1/DE)とTMとの関係
DE：代かき日から95%発生終期に達するまでの日数，
TM：代かき日から95%発生終期に達するまでの期間の日最高地温平均値。



図－３　ノビエの発生生態から見た雑草防除に必要な除草剤残効期間と葉令進展及び発生消長との関係

水田水温や水田地温の日平均値については，近隣の気象観測所における気温，水蒸気圧及び日射量の３要素の観測値だけで推定できるモデルが開発されている（丸山ら1998，高見ら1989）。水田地温の日最高温度の推定に関しても，井上ら（1985）や中園ら（1999）らの水田の微気象モデルによって推定することが可能となっている。後者のモデルは気象観測所の観測値の他に用水温度や水深，減水深などの測定も必要であるが，これらの水田地温推定モデルを活用すれば，本研究のモデルもより使い勝手の良いものなる。

３．推定モデルの適用性の検討

（１）葉令進度と発生終期の推定精度

タイヌビエは地域によって生態的特性が異なると考えられ，地域が変われば発生消長も異なるものと考えられる。従って，本来は各水田で回帰式を作成し直す必要があり，その水田にあった回帰式を適用する必要がある。しかし，実際に調査にかかる労力を考えると回帰式を作り直すのは現実的ではない。そこで，上記で作成した回帰式（秋田県大曲市で作成）が，他の地域の水田にどの程度適用できるのかについて検証を行ってみた。

検証は，東北各県の農業試験場を中心に協力を得て測定した1999年の値と，北海道立中央農試及び日本植物調節剤研究協会（植調）秋田試験地の過去数年間の測定値を用いて行った。葉令の推定に対しては，便宜的に代かき後20日間の平均地温を用いて適用した結果，東北地方の多くの水田では２，３日程度のズレで推定できている事が判明した（表－６）。一方で，北海道立中央農試と福島県冷害試験地，福島県会津支場では推定値が実測値と大きく異なった（表－６）。

また，発生終期の推定に関しても，便宜的に代かき後40，50，60日間の日最高地温平均値を用いて推定したところ，植調秋田試験地では比較的精度良く推定でき，北海道立中央農試では実測値と大きく異なる推定結果となっていた（表－７）。

こうしたことから，東北地方ではかなりの水田で大曲の回帰式を適用できる可能性があると

表－６　葉令進展における実測値と推定値のズレ（日数）

測定機関	年次	２葉期	2.5葉期	３葉期
植調秋田試験地	1996	-3	-2	-1
	1997	-1	1	0
	1998	0	1	3
	1999	-2	-2	-1
北海道立中央農業試験場	1997	32	21	17
	1998	3	5	4
	1999	8	9	9
岩手県農業研究センター	1999	-3	-3	-2
宮城県農業研究センター	1999	-1	-1	-1
宮城県古川農業試験場	1999	0	-1	0
山形県農業試験場庄内支場	1999	1	2	2
山形県農業研究研修センター	1999	-3	-3	-2
福島県農業試験場	1999	-1	-1	0
福島県農業試験場会津支場	1999	-5	-5	-6
福島県農業試験場冷害試験地	1999	3	7	
富山県農業研究センター	1999	-2	-2	0

推定値は代かき後20日間の平均値を大曲の回帰式にあてはめ算出した。負の値は実測値より推定値が短いことを示す。

表－7　95%発生終期における実測値と推定値のズレ（日数）

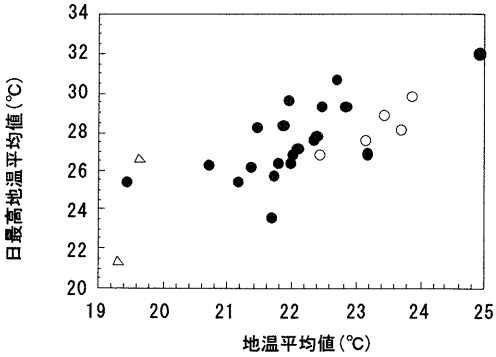
試験場名	年次	推定に用いた平均期間* 40日	50日	60日
植調秋田試験地	1999	5	6	4
北海道立中央農業試験場	1999	41	36	32

*代かき後40，50，60日間の平均値を回帰式にあてはめた場合について算出した。

考えられるが，北海道や福島など大曲と気象条件が大きく異なった水田，大曲と地理的に離れた水田では，適用できない場合も多くなると予想される。

（2）1999年の各地の水田地温と推定モデルの適用結果

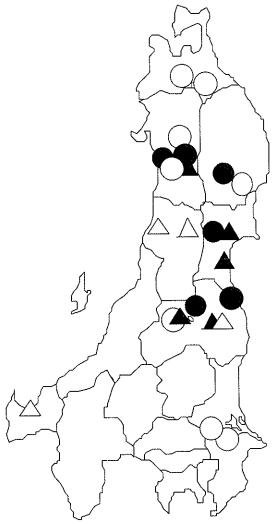
1999年の各地の水田地温を6月の平均地温で比較すると，東北地方の農業試験場では主に21～23℃，北海道立中央農試では19～20℃，富山県，茨城県，福岡県の測定値では主に23～24℃に分布した（図－4）。この結果は，東北地方の水田地温の分布域が，北海道或いは関東・北陸以南の地方の地温分布と比較的明瞭な違いがあることを示している。東北地方内での水田地温の分布には，太平洋側に低温の傾向が見られたものの，南北間に顕著な較差は見られなかった。福島県会津支場で測定されている水田温度データをこの10年間で比較すると，1999年は比較的標準的な値であった。この会津支場の値は，



図－4　1999年6月の水田地温平均値の比較
△：北海道，●：東北地方，○：関東・北陸・九州地方。

10年間で21～24.5℃の間で大きく変動しており，このことから，1999年の東北地方の地温分布域（主に21～23℃）もかなりの年次変動があるものと予想される。

上述したように，大曲で作成した回帰式が全ての地域で適用できるわけではないが，1999年の東北各地の水田地温に適用してみたのが図－5である。この結果は，非常に限られた水田の結果であり，東北内の各地域を代表するものではないが，除草剤に必要な残効期間が30日未満となる水田から40日以上となる水田まで，30～40日前後で大きく変動した。



図－5　1999年の水田地温に対しての推定モデルの適用結果。2.5葉期から95%発生終期までの日数をタイヌビエ防除に必要な除草剤の残効期間とした。
○，30日未満；△，30～35日；▲，35～40日；●，40日以上。

通常，除草剤は30日程度で効果が低下し始めるとされている。従って，東北地方の水田における推定値が30～40日前後で変動したことは，東北地方が特に水田地温管理が重要となる地域であることを示している。東北地方で効率的な雑草防除を行うためには，水田地温を高く維持し，雑草発生が除草剤残効期間内に終了するような水田管理を心がける事が重要であるといえる。

本研究で得たモデルはタイヌビエの発生生態の視点に立ったものであるが，実際の圃場では後期に発生したタイヌビエが水稲の被陰によっ

て子実をつけることなく枯死し，雑草害にならない場合も見受けられる。今後はそうした場面を考慮したモデルを確立することが必要である。また，本研究はノビエの中でもタイヌビエを対象としたものであるが，寒冷地においてもイヌビエの繁茂が目立つ水田が増えており，イヌビエにおける温度と発生の関係など，推定における草種間差も検討する必要がある。

謝辞

この研究を進めるにあたって御指導ならびに御協力を頂いた東北農業研究センターの伊藤一幸氏，渡邊寛明，岡田益己氏，北海道立中央農業試験場の古原洋氏，日植調秋田試験地の鈴木啓一郎氏，鶴谷明宇，福島県農業試験場会津支場の新田靖晃氏，九州沖縄農業研究センターの小沢聖氏，石巻改良普及センター田中良氏に深く感謝し，お礼申し上げます。また，各地の水田地温データとヒエの葉令進度・発生消長のデータ測定に御協力いただいた各農業試験場の担当者の方々，調査にあたり多大なご協力を頂いた東北農業研究センター水田利用部雑草制御研究室の橘雅明氏，鈴木奈美子氏，藤田せい子氏，同水田利用部業務科の方々に深く感謝し，お礼申し上げます。

引用文献

1）土井康生・村上利男　1977．北海道農試研報119：1-8.
2）井上君夫　1985．農業気象40：353-360.
3）伊藤一幸　1996．赤間芳洋編「東北の稲研究」，東北農業試験場稲作研究100周年事業会，pp. 321-328.
4）加持集三・五島敏男・大津悠一　1998．雑草研究43：210-219.
5）丸山篤志・大場和彦・黒瀬義孝　1998．農業気象54：247-254.
6）森田弘彦　1999．雑草研究44：218-227.
7）村上士明・馬庭義則・坂上和久　1990．雑草研究35：253-260.
8）村上利男・土井康生・森田弘彦　1987．雑草研究32：112-122.
9）中園江・井上君夫　1999．農業研究センター研究資料38:95-149.
10）鈴木光喜・須藤孝久　1975a．雑草研究20：105-109.
11）鈴木光喜・須藤孝久　1975b．雑草研究20：109-113.
12）高見晋一・菅谷博・鳥山和伸　1989．農業気象45：43-47.
13）田中良　1987．植調東北支部会報22：22-33.
14）内野彰・渡邊寛明・伊藤一幸　2002a．雑草研究47:66-73.
15）内野彰・渡邊寛明・古原洋・鶴谷明宇・新田靖晃・伊藤一幸　2002b．東北の雑草2:34-42.

改訂新版 芝生の病虫害と雑草
細辻豊二・吉田正義・米山勝美・山下義幸／著
B6判　296頁　本体3,500円(税別)
芝生の病気、害虫、雑草の見分けかたから防除法までを解説した本書は、発刊以来好評を頂いておりますが、今回病害虫を最新の知見で改訂し併せて防除薬剤も最新に改訂した。
全国農村教育協会 〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6 Tel.03-3833-1821 Fax.03-3833-1665

水田一発処理除草剤

ダブルスター®

1キロ粒剤
ジャンボ®
顆　粒

ピラゾスルフロンエチル・フェントラザミド 含有

3つの剤型で水田除草革命宣言

あなたは、どのダブルスター?

顆粒　1キロ粒剤　ジャンボ®

特　長

1.高い除草効果
ノビエなどの一年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリなどの多年生雑草に高い効果を示します。

2.問題の一年生雑草にも有効
最近問題となっている、アメリカアゼナやアゼトウガラシ等の一年生広葉雑草やタウコギ等のキク科雑草に対しても、発生前～発生初期の処理で高い効果を示します。

3.ゆとりのある使用時期
移植後5日から、ノビエ2.5葉期（ジャンボは2葉期）まで、長い期間にわたって使用できます。田植後、ゆとりをもって散布ができます。

4.長い残効性
各種雑草に対して通常40～50日間の残効が期待できます。特にノビエに対する残効性に優れた剤ですので、ノビエの後発生が問題となる寒冷地においても十分な効果を保ちます。

5.水稲に対する優れた選択性
水稲に対して選択性が高いので、通常の水田条件下では安心して使用できます。

ダブルスター協議会　バイエル クロップサイエンス(株)/日産化学工業(株)
〈事務局〉日産化学工業株式会社　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1（興和一橋ビル）

平成１５年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人　日本植物調節剤研究協会

平成15年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成15年11月28日(金)にRITZ5において開催された。

この検討会には、試験場関係者26名、委託関係者23名ほか、計55名の参集を得て、除草剤5薬剤(16点)、生育調節剤7薬剤(35点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成１５年度　常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A．除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および含有率(%) [委託者]	作物名	試験の種類 新・継の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・mL<水量L>／10a ;処理方法等	判定	内容
1. AH-01 液 (S)-2-ｱﾐﾉ-4-[ﾋﾄﾞﾛｷｼ(ﾒﾁﾙ)ﾎｽﾌｨﾉｲﾙ]ﾌﾞﾀﾝ酸ﾅﾄﾘｳﾑ塩 10.5% [明治製菓]	ｶﾝｷﾂ	適用性 継続	和歌山果園試 愛媛果試 佐賀果試 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;300mL<100,150mL> 500mL<100L> ;茎葉処理 対)ﾊﾞｽﾀ液剤 300mL<100L>	実・継	実)[カンキツ：雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象; 300～500mL/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a>. ・茎葉処理. 継) ・薬害試験の継続.
		適用性 継続	静岡柑試 山口大島かん試 熊本農研果樹 (3)	[多年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;500mL<100,150L> 1000mL<100L> ;茎葉処理 対)ﾊﾞｽﾀ液剤 500mL<100L>		
		薬害 新規	鹿児島大学 広島果樹常緑研 (2)	[薬害試験] 春期→初夏→夏期 ;2000mL→2000mL→2000mL <100L> ;土壌処理 夏期 ;5000mL<100L> ;土壌処理 春期または夏期 ;100倍 ;樹幹処理		
2. Hoe-866 液 ｸﾞﾙﾎｼﾈｰﾄ 18.5% [ﾊﾞｲｴﾙ ｸﾛｯﾌﾟ ｻｲｴﾝｽ]	ｻﾝｼｮｳ	適用性 新規	和歌山果園試 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ;300,500,750mL<100L> ;茎葉処理	継	継) ・効果、薬害の確認.

A．除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・mL<水量L>/10a ;処理方法等	判定	内容
3. MON-96A 液 ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｱﾝﾓﾆｳﾑ塩 41% [日産化学工業]	ｶﾝｷﾂ	適用性 継続	果樹研ｶﾝｷﾂ(口之津) 長崎果試 熊本農研天草 (3)	[ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ] ①6月 発生揃期(草丈15～20cm) ②9月 草丈60～80cm ;2000mL<50L> ③6月 発生揃期→9月 発生揃期 ;2000mL→2000mL<50L> ;茎葉処理	実	前年通り 実) [カンキツ：雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象; 250～500mL/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <25～50L/10a(専用ﾉｽﾞﾙ使用)、50～100L/10a>. ｽｷﾞﾅ対象;1500～2000mL/10a<25～50L/10a(専用ﾉｽﾞﾙ使用)>. ﾏﾙﾊﾞﾂﾕｸｻ対象; 2000mL/10a <50L/10a>. 1回または2回処理. ・茎葉処理. ・秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・250～500mL/10a <25～50L/10a(専用ﾉｽﾞﾙ使用)、50～100L/10a>. ・茎葉処理.
4. ﾀｰﾊﾞｼﾙ 水和 ﾀｰﾊﾞｼﾙ 80% [ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ｶﾝｷﾂ	適用性 継続	山口萩かん試 香川農試府中 徳島果試 (3)	[雑草全般] ①雑草発生前 ;200,300g<150L> ;土壌処理 ②雑草生育期 ;200,300g<200L> (展着剤加用) ;茎葉処理	実・継	実) [カンキツ：一年生雑草] ・雑草発生前または雑草生育期. ・200～300g<150～200L>. ・土壌処理または茎葉処理. 継) ・薬害の確認.
5. MON-001 液 ｸﾞﾘﾎｻｰﾄｶﾘｳﾑ塩 52% [日産化学工業]	ｶﾝｷﾂ	適用性 継続 (14年度)	熊本農研果樹 (1)	[一年生雑草全般] 春期および夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) ;250mL<25,50(専用ﾉｽﾞﾙ), 100L>, 500mL<50L(専用ﾉｽﾞﾙ)> ;茎葉処理 対)三共の草枯らし 250mL<25L(専用ﾉｽﾞﾙ)>	実・継	前年通り 実) [カンキツ：雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象; 250～500mL/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <25～50L/10a(専用ﾉｽﾞﾙ使用),50～100L/10a>. ・茎葉処理. 継) ・春期処理における効果、薬害の確認. ・ｽｷﾞﾅに対する効果の確認. ・薬害試験の継続.

B．生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g･mL〈水量L〉／10a ;処理方法等	判定	内容
1. KC-1129 水溶 蟻酸ｶﾙｼｳﾑ 98.3% [晃栄化学工業]	ｳﾝｼｭｳﾐｶﾝ	適用性 新規	〈静岡柑試〉 〈山口大島かん試〉 〈愛媛果試南予〉 〈熊本農研果樹〉 (4)	[浮皮軽減] 満開後30～60日の間または退色初期より　3回散布 ;200,500,1000倍 ;立木全面散布または枝別散布	―	
2. NB-34 液 りん酸 10%,加里6%,苦土 1%,ﾏﾝｶﾞﾝ 0.2%,ﾎｳ素 1%,鉄 0.1%,銅 0.05%,亜鉛 0.05%,ﾓﾘﾌﾞﾃﾝ 0.1%,特殊海藻ｸﾘｰﾑ [日本曹達]	ﾋﾞﾜ	作用性 継続	長崎果試　(1)	[糖度向上、着色促進] 生育中期(開花約60～80日後) 7～10日間隔　3回散布 ;1000倍 ;散布	―	
3. RIC-1 液 海藻ﾎﾓｼﾞﾈｰﾄ [ﾛｲﾔﾙ ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰｽﾞ]	ｳﾝｼｭｳﾐｶﾝ	作用性 継続	〈鹿児島大学〉(1)	[品質向上、樹勢回復、連年施用による表・裏年の較差の軽減] ①2～3月;1L;土壌処理→5月;3000倍;葉面散布→12月;1000倍;葉面散布(3回処理) ②2～3月;1000倍→5月;3000倍→12月;1000倍;いずれも葉面散布(3回処理)	―	
	ｳﾝｼｭｳﾐｶﾝ	適用性 継続	〈静岡柑試〉 〈和歌山果園試〉 〈広島果樹常緑研〉 〈山口大島かん試〉 〈愛媛果試〉 〈長崎果試〉 〈熊本農研天草〉 (7)	[品質向上、樹勢回復、連年施用による表・裏年の較差の軽減] ①2～3月;1L;土壌処理→5月;3000倍;葉面散布(3回処理) ②2～3月;1000倍→5月;3000倍→12月;1000倍;いずれも葉面散布(3回処理)		
	不知火	適用性 継続	〈愛媛果試南予〉 〈長崎果試〉 〈宮崎総農試亜熱帯〉(3)	[樹勢、品質、収量に及ぼす影響] ①2～3月;1L;土壌処理→5,6,7,8月中旬;3000倍;葉面散布(5回処理) ②2月;1000倍→3,4,5,6,7,8月中旬;3000倍;葉面散布(7回処理)		
4. AKD-8083 EW MCPB 20% [ｱｸﾞﾛｶﾈｼｮｳ]	ｳﾝｼｭｳﾐｶﾝ	適用性 新規	果樹研ｶﾝｷﾂ(口之津) 愛知農総試 佐賀果試 大分柑試 宮崎総農試　(5)	[夏秋梢伸長抑制] ①夏秋梢発芽時→その20日後(2回処理) ②夏秋梢発芽時→その20日後→その20日後(3回処理) ;2000,3000倍 ;立木全面散布または枝別散布	実・継	実)[ウンシュウミカン;夏秋梢発生抑制] ・新梢萌芽直前. ・1000～3000倍　2～3回散布. ・立木全面散布または枝別散布. 継) ・薬害の発生条件について.

B．生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g･mL<水量L>／10a ;処理方法等	判定	内容
5. JFR-010 水溶 ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ 5% [JFR-010協議会]	伊予柑	適用性 新規	<山口萩かん試> <愛媛果試> (2)	[花芽抑制による樹勢維持] 収穫直後～収穫約1ヶ月後) ;25,50ppm ;樹別散布または枝別散布	—	
	不知火	適用性 新規	<熊本農研果樹> <宮崎総農試> (2)	[花芽抑制による樹勢維持] 収穫直後～収穫約1ヶ月後) ;25,50ppm ;樹別散布または枝別散布		
	はるみ	適用性 新規	<広島果樹柑橘研> <愛媛果試> (2)	[花芽抑制による樹勢維持] 収穫直後～収穫約1ヶ月後) ;25,50ppm ;樹別散布または枝別散布		
6. HOK-813 乳 MCPAﾁｵｴﾁﾙ 20%	ｳﾝｼｭｳﾐｶﾝ	適用性	佐賀果試 (1)	[夏秋梢伸長抑制] 発芽直前 ;1500,2000倍 ;立木全面散布 対)ﾌｨｶﾞﾛﾝ乳剤 1000倍	—	

C．平成14年度　生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g･mL<水量>／10a ;処理方法等	判定	内容
1. AKD-8083 EW MCPB 20% [ｱｸﾞﾛｶﾈｼｮｳ]	日向夏	適用性 新規	静岡柑試伊豆 宮崎農試亜熱帯 (2)	[冬期落果防止] 11月～12月 (1回処理) ;3000倍<300～400L> ;立木全面散布または枝別散布 対)ﾏﾃﾞｯｸ乳剤 3000倍	実・継	実)[カンキツ(日向夏、ｻﾏｰﾌﾚｯｼｭ、ｾﾐﾉｰﾙ、ｶﾗ、ﾊｯｻｸ):冬期落果防止] ・着色期～収穫20日前1～2回散布. ・2000～3000倍 <300～400L/10a>. ・立木全面散布. 継) ・効果の確認.
	ｻﾏｰﾌﾚｯｼｭ	適用性 新規	三重紀南果樹研 (1)	[冬期落果防止] 11月及び2月 (2回処理) ;2000倍<300～400L> ;立木全面散布または枝別散布		
	ｾﾐﾉｰﾙ	適用性 新規	三重紀南果樹研 (1)	[冬期落果防止] 11月及び2月 (2回処理) ;2000倍<300～400L> ;立木全面散布または枝別散布		
	ｶﾗ	適用性 新規	三重紀南果樹研 (1)	[冬期落果防止] 11月及び2月 (2回処理) ;2000倍<300～400L> ;立木全面散布または枝別散布		
	ﾊｯｻｸ	適用性 継続	徳島果試 (1)	[冬期落果防止] 11月中旬及び12月下旬～1月上中旬の2回散布 ;3000倍→3000倍,2000倍→2000倍 ;立木全面または枝別散布 対)ﾏﾃﾞｯｸ乳剤 3000倍→3000倍		

C．平成１４年度　生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計［ねらい］ 処理時期 ；薬量g･mL<水量>／10a ；処理方法等	判定	内容
2. RIC-1 液 海藻ﾎﾓｼﾞﾈｰﾄ	ｳﾝｼｭｳ ﾐｶﾝ	作用性 継続	鹿児島大学 (1)	［連年施用による隔年結果の格差の減少］ 2～3月；原液1L；土壌処理→5月；3000倍；葉面散布→12月；1000倍；葉面散布 2～3月；1000倍；葉面散布→5月；3000倍；葉面散布→12月；1000倍；葉面散布	継	継） ・効果の確認.
		適用性 継続	静岡柑試 和歌山果園試 広島果樹常緑研 山口大島柑試 愛媛果試 長崎果試 熊本農研天草 (7)	［連年施用による隔年結果の格差の減少］ 2～3月；原液1L；土壌処理→5月；3000倍；葉面散布→12月；1000倍；葉面散布 2～3月；1000倍；葉面散布→5月；3000倍；葉面散布→12月；1000倍；葉面散布		
［ﾛｲﾔﾙ ｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰｽﾞ］	不知火	適用性 継続	愛媛果試南予 長崎果試 熊本農研天草 宮崎総農試亜熱帯 (4)	［樹勢、品質、収量への影響］ 2～3月；1L；灌水処理(1回)→5～8月に1ヶ月毎；3000倍；葉面散布(4回) 2月；1000倍→3～8月に1ヶ月毎；3000倍；葉面散布(7回)	実・継	実）［不知火：樹勢強化］ ・2～3月；1L/10a；灌水処理(1回処理)→5～8月に1ケ月毎；3000倍；葉面散布(4回処理). ・2月；1000倍→3～8月に1ケ月毎；3000倍；葉面散布(7回処理). 注）3～4年間連用して施用する。 継） ・連年処理での効果の確認.
3. JFR-010 水溶 ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ　5% ［JFR-010協議会］	極早生 ｳﾝｼｭｳ	適用性 継続	和歌山果園試 広島果樹常緑研宮 宮崎総農試 (3)	［花芽抑制による樹勢維持］ 11月中旬～12月下旬(収穫後) ；25, 50ppm ；樹別散布、枝別散布 対)ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ水溶剤 25ppm	実	実）［ウンシュウミカン：花芽抑制による樹勢維持］ ・収穫直後～収穫約２ヶ月後. ・25～50ppm. ・立木全面散布または枝別散布.
	早生ｳﾝｼｭｳ	適用性 継続	和歌山果園試 山口大島柑試 熊本農研果樹 (3)	［花芽抑制による樹勢維持］ 11月中旬～12月下旬(収穫後) ；25, 50ppm ；樹別散布、枝別散布 対)ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ水溶剤 25ppm		
	普通ｳﾝｼｭｳ	適用性 継続	静岡柑試 山口大島柑試 徳島果試 (3)	［花芽抑制による樹勢維持］ 12月～1月(収穫後) ；25, 50ppm ；樹別散布、枝別散布 対)ｼﾞﾍﾞﾚﾘﾝ水溶剤 25ppm		
4. HOK-813　乳 MCPAﾁｵｴﾁﾙ　20% ［北興化学工業］	ﾊｯｻｸ	適用性 継続	徳島果試 (1)	［へた落ち防止］ ①収穫10日前 ②収穫20日前 ；4000, 2000倍 ；立木全面散布 対）ﾏﾃﾞｯｸ乳剤　収穫20日前 3000倍	実	実）［ハッサク：へた落ち防止］ ・収穫20～10日前1回散布. ・2000～4000倍 <300～400L/10a>. ・立木全面散布.

平成15年度水稲作関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成15年度水稲作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成15年12月11日、12日の2日間、池之端文化センターにおいて開催された。なお、適1試験成績検討会は、これに先立ち平成15年10月16日 台東1丁目区民館にて開催された。ここに、これらの成果の概要を報告する。

1)第一次適用性試験(適1)は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿・中国・四国地域(植調滋賀試験地)、九州地域(植調福岡試験地)の全国6地域および砂壌土(植調広島第一試験地)で38薬剤(のべ206点)について実施した。その判定結果は、第2表のとおりである。

2)第二次適用性試験(適2)の総点数はのべ2,150点であり、その内訳を第1表にまとめた。これら適2試験の判定結果は、第3表のとおりである。

第1表 平成15年度適2試験実施点数

A-1 移植栽培(一発処理)	144剤 1,423点	A-4 特殊雑草対象 内訳	
A-2 移植栽培(体系処理:初期)	22剤 197点	イボクサ	8剤 15点
A-3 移植栽培(体系処理:中後期)	16剤 145点	エゾノサヤヌカグサ	5剤 8点
A-4 移植栽培(特殊雑草対象)	のべ155剤 267点	オモダカ	28剤 64点
B 直播栽培	31剤 100点	クサネム	1剤 3点
C 畦畔雑草	2剤 10点	クログワイ	40剤 85点
E 休耕田	1剤 4点	コウキヤガラ	2剤 3点
F 生物除草剤	1剤 2点	シズイ	13剤 19点
その他	1剤 2点	ミズアオイ	19剤 18点
		SU抵抗性コナギ	13剤 13点
		SU抵抗性ホタルイ	26剤 39点

第２表　平成１５年度　水稲作関係除草剤適１試験　成績判定結果一覧

注）判定欄の記入については、◎：極めて有望、○：有望、□：可能性有り、△：再検討、×：見込みなし　を表す。

NO	薬剤名・剤型［委託者］	有効成分及び含有率（%）	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	広島砂壌土	中央判定［今後の検討課題］
1	BAG-032　ｼﾞｬﾝﾎﾞ［BASFｱｸﾞﾛ］	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ　:10.5 ｼｸﾛｽﾙﾌｧﾑﾛﾝ　:2.25 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ　:22.5 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:10	□	○	○	○	○	○	○	○　一発処理で ＋３～ノビエ２L，ホタルイ２L ［ウリカワに対する効果の変動について］
2	BCH-031-1kg　粒［ﾊﾞｲｴﾙ］	AVH-301　:3 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:0.8	□	□	○	○	◎	○	○	□（北海道・東北）一発処理で ＋５～ノビエ２L，ホタルイ２L ○（北陸以南）　一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［低温条件でのノビエ殺草葉齢限界］
3	BCH-032-1kg　粒［ﾊﾞｲｴﾙ］	AVH-301　:3 ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:3	□	□	○	○	◎	◎	○	□（北海道・東北）一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ○（北陸以南）　一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［年次変動の確認］
4	BCH-033-1kg　粒［ﾊﾞｲｴﾙ］	AVH-301:3 ﾒﾌｪﾅｾｯﾄ:12	△	□	○	○	○	◎	○	□（北海道・東北）一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ○（北陸以南）　一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［低温条件での効果と薬害の確認］
5	BCH-034-1kg　粒［*ﾊﾞｲｴﾙ,住化］	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:2 ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ　:0.9 ﾌﾟﾛﾓﾌﾟﾁﾄﾞ　:9 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ　:4.5	□	◎	○	○	○	◎	○	○　一発処理で ＋０～ノビエ２L，ホタルイ２L ［年次変動の確認］
6	BCH-035-1kg　粒［*ﾊﾞｲｴﾙ,住化］	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ:3 ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ　:0.9 ﾌﾟﾛﾓﾌﾟﾁﾄﾞ　:9	□	○	○	○	○	○	○	○　一発処理で ＋０～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［年次変動の確認］
7	DBH-1291　乳［東部韓農］	ﾒﾀﾐﾎｯﾌﾟ（新規）:3.3	○	◎	○	○	○	○	○	○　ノビエ専用中後期剤として ＋２０～＋４０，～ノビエ６L ［年次変動の確認］
8	DKH-311-1kg　粒［ﾃﾞｭﾎﾟﾝ］	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ　:3 ﾌﾟﾛﾓﾌﾟﾁﾄﾞ　:9 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75	○	○						○（北海道・東北）一発処理で ＋３～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［年次変動の確認］
9	HOK-0301-1kg　粒［北興］	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ　:3 ﾍﾞﾝｿﾞﾌｪﾅｯﾌﾟ:8 ﾍﾞﾝﾌﾚｾｰﾄ　:5	○	□	○	○	◎	□	○	○　一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［ウリカワに対する効果の変動について］
10	HOK-201D-1kg　粒［*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ］	HOK-201　:2.5 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75	□	□						□（北海道・東北）一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［不効草種に対する対応について］
11	HOK-201DS-1kg　粒［*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ］	HOK-201　:2.5 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ　:4.5			○	○	△	□	○	○（北陸以南）　一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［不効草種に対する対応について］
12	HOK-222-1kg　粒［*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ］	ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ　:0.8 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ　:3 ﾌﾟﾛﾓﾌﾟﾁﾄﾞ　:6	□	□						□（北海道・東北）一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L ［薬害要因について］

NO	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	広島砂壌土	中央判定 [今後の検討課題]
13	HOK-223-1kg 粒 [*北興,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :0.8 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :3 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :6			○	○	□	○	○	□（北陸以南） 一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L [薬害要因について]
14	KPP-444-1kg 粒 [科研]	ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :9 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ :3.9	○	○						□（北海道・東北）一発処理で ＋０～ノビエ１．５L，ホタルイ始 [１．５Lノビエ効果，残効期間]
15	KPP-444Ⓛ-1kg 粒 [科研]	ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :9 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ :3.9			○	○	○	□	○	□（北陸以南） 一発処理で ＋０～ノビエ１．５L，ホタルイ始 [１．５Lノビエ効果，残効期間]
16	KUH-013K-1kg 粒 [*ｸﾐ化,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ,科研]	ﾋﾟﾘﾐﾉﾊﾞｯｸﾒﾁﾙ:0.45 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ :2 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :9 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ :0.51	○	○						○（北海道・東北）一発処理で ＋３～ノビエ３L，ホタルイ２L [年次変動の確認]
17	KUH-013D-1kg 粒 [*ｸﾐ化,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ,科研]	ﾋﾟﾘﾐﾉﾊﾞｯｸﾒﾁﾙ:0.45 ﾍﾟﾝﾄｷｻｿﾞﾝ :2 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :9 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ :0.75			○	○	○	□	○	○（北陸以南） 一発処理で ＋３～ノビエ３L，ホタルイ２L [年次変動の確認]
18	KUH-023K ｼﾞｬﾝﾎﾞ [*ｸﾐ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :8.4 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:8 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:2	○	○						□（北海道）一発処理で ＋５～ノビエ２L，ホタルイ２L ○（東北）一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L [低温条件での効果の確認]
19	KUH-023D ｼﾞｬﾝﾎﾞ [*ｸﾐ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :12 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:8 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:3			○	○	○	□	○	○（北陸以南） 一発処理で ＋３～ノビエ２．５L，ホタルイ２L [年次変動の確認]
20	KUH-031 粒 [ｸﾐ化]	ﾋﾟﾘﾐﾉﾊﾞｯｸﾒﾁﾙ:0.4 ﾍﾞﾝﾀｿﾞﾝ :11	○	○	○	○	○	□	○	○ 体系処理(中後期)で ＋１５～＋４０，ノビエ４L，ホタルイ４L [水条件と効果の安定性について]
21	KUH-032-0.25kg 粒 [*ｸﾐ化,SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :8.4 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:8	△	○	○	○	○	□	○	△（北海道） ○（東北以南） 一発処理で ＋３～ノビエ２L，ホタルイ２L [低温条件での効果の確認]
22	NC-606-1kg 粒 [日産]	ﾋﾟﾗｿﾞｽﾙﾌﾛﾝｴﾁﾙ:0.3 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :0.8 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ :2 ｼﾞﾒﾀﾒﾄﾘﾝ :0.6	□	◎	○	○	◎	○	○	○ 一発処理で ＋５～ノビエ２．５L，ホタルイ２L [年次変動の確認]
23	NH-301-1kg 粒 [日農]	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:0.6 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :3.5 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :6	□	□	□	□	○	□	□	□ 一発処理で ＋０～ノビエ２．５L，ホタルイ２L [対象草種と処理適期について]
24	NH-302 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [日農]	ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ:1.2 ｸﾛﾒﾌﾟﾛｯﾌﾟ :7 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :18	□	□	□	○	○	□	□	□ 一発処理で ＋０～ノビエ２．５L，ホタルイ２L [対象草種と処理適期について]
25	SB-566 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :3 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :8 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:4(W/V)	□	○	○	○	○	○	○	○体系処理で初期に使用する剤として ＋０～ノビエ１．５L，ホタルイ２L [年次変動の確認]

NO	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率 (%)	実施場所別総合評価 北海道	古川	新潟	植調研	滋賀	福岡	広島砂壌土	中央判定 [今後の検討課題]
26	SB-566-1kg 粒 [SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :1.5 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :4 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2	□	○	○	○	○	○	○	○体系処理で初期に使用する剤として ＋0～ノビエ1.5L，ホタルイ2L [年次変動の確認]
27	SW-031Ⓛ-1kg 粒 [*三共,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ｱﾆﾛﾎｽ :4.5 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :4.5 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51					△	□	○	□（近畿以西） 一発処理で ＋3～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [効果の安定性について]
28	SW-032 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [*三共,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ :6 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :18 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.4	○	○						○（北海道・東北）一発処理で ＋3～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [年次変動の確認]
29	SW-032Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [*三共,ﾃﾞｭﾎﾟﾝ]	ﾌｪﾝﾄﾗｻﾞﾐﾄﾞ :6 ﾌﾞﾛﾓﾌﾞﾁﾄﾞ :18 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1			○	○	○	□	○	○（北陸以南） 一発処理で ＋3～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [年次変動の確認]
30	TH-001-1kg 粒 [*住化武田,SDS]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ :0.9 ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :3 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2	□	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理で ＋5～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [年次変動の確認]
31	TH-122-1kg 粒 [住化武田]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ :0.9 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :0.8 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2	□	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理で ＋5～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [年次変動の確認]
32	TH-421 ｼﾞｬﾝﾎﾞ [住化武田]	ｲﾏｿﾞｽﾙﾌﾛﾝ :2.25 ｵｷｻｼﾞｸﾛﾒﾎﾝ :1.5 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:5	□	○	○	○	○	○	○	○ 一発処理で ＋5～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [年次変動の確認]
33	TH-547-1kg 粒 [住化武田]	TH-547(新規):0.7	○	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理で ＋5～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [効果の安定性について]
34	YH-650 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [八洲]	ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:3.6	□	○	□	○	○	□	○	□ 体系処理で移植前後に使用する剤として 移植前～ノビエ1.5L [ノビエ，広葉の残効期間について]
35	YH-650-1kg 粒 [八洲]	ﾋﾟﾗｸﾛﾆﾙ:1.8	□	○	□	○	○	□	○	□ 体系処理で移植前後に使用する剤として 移植前～ノビエ1.5L [ノビエ，広葉の残効期間について]
36	SB-563Ⓗ-1kg 粒 [SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :3 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :6 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.75 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2	□	○						□（北海道・東北）一発処理で ＋3～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [2.5Lノビエに対する効果の確認]
37	SB-563Ⓛ-1kg 粒 [SDS]	ｶﾌｪﾝｽﾄﾛｰﾙ :3 ﾀﾞｲﾑﾛﾝ :6 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:0.51 ﾍﾞﾝｿﾞﾋﾞｼｸﾛﾝ:2			○	○	○	□	○	□（北陸以南） 一発処理で ＋3～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [2.5Lノビエに対する効果の確認]
38	SYJ-150 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ [ｼﾝｼﾞｪﾝﾀ]	ﾋﾟﾘﾌﾀﾘﾄﾞ :2.9 ﾌﾟﾚﾁﾗｸﾛｰﾙ :11.5 ﾍﾞﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ:1.4	○	○						○（北海道・東北）一発処理で ＋5～ノビエ3L，ホタルイ2L □（北陸以南） 一発処理で ＋5～ノビエ2.5L，ホタルイ2L [生育の進んだホタルイ，ミズガヤツリへの効果の確認]
					□	○		□		

第3表 平成15年度 水稲関係除草剤適-2試験成績判定結果一覧

区 分	実・継		継	
A-1 一発処理	AC-014CⓁ ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	AC-014R ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	BAG-032 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	BCH-031-1kg 粒,
	AGH-925-1kg 粒,	AVH-002-1kg 粒,	BCH-032-1kg 粒,	BCH-033-1kg 粒,
	BAG-021 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	HOK-221 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	BCH-034-1kg 粒,	BCH-035-1kg 粒,
	HOK-222 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	HOK-223 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	DKH-311-1kg 粒,	HOK-0301-1kg 粒,
	HOK-991 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	HSW-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	HOK-201D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	HOK-201DS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,
	KUH-003D ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	KUH-003D-0.25kg 粒,	HOK-222-1kg 粒,	HOK-223-1kg 粒,
	KUH-003K ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	KUH-003K-0.25kg 粒,	HOK-225-1kg 粒,	KPP-444-1kg 粒,
	KUH-004D-1kg 粒,	KUH-011D-1kg 粒,	KPP-444Ⓛ-1kg 粒,	KUH-023D ｼﾞｬﾝﾎﾞ,
	KUH-011K-1kg 粒,	KUH-013D ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	KUH-023K ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	KUH-032-0.25kg 粒,
	KUH-013D-0.25kg 粒,	KUH-013D-1kg 粒,	NC-606-1kg 粒,	NH-301-1kg 粒,
	KUH-013K ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	KUH-013K-0.25kg 粒,	NH-302 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	SB-563Ⓗ-1kg 粒,
	KUH-013K-1kg 粒,	KUH-021-1kg 粒,	SB-563Ⓛ-1kg 粒,	SW-031Ⓛ-1kg 粒,
	KUH-023D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	KUH-023D-0.25kg 粒,	SW-032 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	SW-032Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,
	KUH-023K ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	KUH-023K-0.25kg 粒,	SYJ-150 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	TH-122-1kg 粒,
	KUH-985 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	KUH-985Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	TH-421 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	TH-547-1kg 粒
	Mon-923-1kg 粒,	Mon-923Ⓛ-1kg 粒,		
	MY-100D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	MY-100D-1kg 粒,		
	MY-100DC-1kg 粒,	MY-100DCⓗ ｼﾞｬﾝﾎﾞ,		
	MY-100DCⓁ ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	MY-100DCⓁ-1kg 粒,		
	MY-100MS ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	MY-100MS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	MY-100NC ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	MY-100NC 顆粒水和,		
	MY-100NC-1kg 粒,	MY-100NDC-1kg 粒,		
	MY-100TSC ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	NBA-071-1kg 粒,		
	NBA-071DEH-1kg 粒,	NBA-073-1kg 粒,		
	NBA-074-1kg 粒,	NBA-076b-1kg 粒,		
	NBA-093(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	NBA-096b ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	NBA-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	NBA-101SB ｼﾞｬﾝﾎﾞ,		
	NBA-131a-1kg 粒,	NBA-131b-1kg 粒,		
	NBA-141a-1kg 粒,	NBA-141b-1kg 粒,		
	NBA-142-1kg 粒,	NBA-941S-1kg 粒,		
	NC-339-1kg 粒,	NC-385 顆粒水和,		
	NC-385SB 顆粒水和,	NC-385SB-1kg 粒,		
	NC-390 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	NC-391Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ,		
	NC-397-1kg 粒,	NC-604 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	NCH-903DEH ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	NH-003-1kg 粒,		
	NH-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	NH-104-1kg 粒,	NH-803 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	NH-806 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	NOJ-101-1kg 粒,		
	NOJ-103-1kg 粒,	NOJ-104-1kg 粒,		
	ONC-381 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	PSSⓁD-1kg 粒,		
	SB-526 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	SB-526-1kg 粒,		
	SB-533P5(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	SB-554 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,		
	SB-554 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	SB-556 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	SB-559Ⓗ-1kg 粒,	SB-559Ⓛ-1kg 粒,		
	SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	SW-005 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	SW-005Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,		
	SW-012Ⓗ-1kg 粒,	SW-012Ⓛ-1kg 粒,		

区　分	実・継		継	
A-1 一発処理　つづき	SW-023Ⓗ-1kg 粒, SW-024Ⓗ ｼﾞｬﾝﾎﾞ, SW-952Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ, SYJ-108 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, TH-001Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, TH-913NCS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-641-1kg 粒, YH-652-1kg 粒,	SW-023Ⓛ-1kg 粒, SW-024Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ, SW-991-1kg 粒, TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, TH-001-1kg 粒, YH-546 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-655-1kg 粒		
A-2 体系(初期)	AVH-006 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, CG-113(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ, KH-183Ⓛ-1kg 粒, KPP-2008-1kg 粒, MAT-159 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, RYH-118-1kg 粒, YH-562 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	CG-113 EW, HSW-012 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, KPP-2008 乳(EW), KPP-2011 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, MY-100MS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量), SB-528Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-651 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ-1kg 粒	G-315B 乳, SB-566 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-650 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	HSW-012 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量), SB-566-1kg 粒, YH-650-1kg 粒
A-3 体系(中後期)	DASH-001 SC, KUH-011K-1kg 粒, MCP･BAS(Na) 粒, MY-100DCⓁ-1kg 粒, NC-329-1kg 粒, SB-551-1kg 粒, YH-591-1kg 粒, ﾓﾘﾈｰﾄSM ｼﾞｬﾝﾎﾞ	KUH-011D-1kg 粒, KUH-983-1kg 粒, MK-243SM ｼﾞｬﾝﾎﾞ, NBA-071-1kg 粒, NH-806 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-653-1kg 粒,	DBH-1291 乳	
A-4 イボクサ	KUH-911 液, NH-104-1kg 粒,	NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SB-533 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NH-003-1kg 粒, SB-556 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	SB-533P5(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ, SW-991-1kg 粒
A-4 エゾノサヤヌカグサ	AVH-002-1kg 粒, NH-003-1kg 粒,	NBA-131a-1kg 粒, SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		
A-4 オモダカ	AC-014A-1kg 粒, KUH-003K-0.25kg 粒, KUH-004K-1kg 粒, MY-100DCⓁ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NH-003-1kg 粒, SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	KUH-003D-0.25kg 粒, KUH-004D-1kg 粒, MY-100DC-1kg 粒, MY-100DCⓁ-1kg 粒, NOJ-101-1kg 粒, TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KUH-003D ｼﾞｬﾝﾎﾞ, KUH-013K-0.25kg 粒, Mon-923-1kg 粒, MY-100NC 顆粒水和, NBA-131b-1kg 粒, NH-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, NH-104-1kg 粒, NOJ-104-1kg 粒,	KUH-013D-0.25kg 粒, MK-243D-1kg 粒, Mon-923Ⓛ-1kg 粒, NBA-131a-1kg 粒, NC-385SB 顆粒水和, NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NOJ-103-1kg 粒, YH-641-1kg 粒
A-4 クサネム	KUH-911 液			
A-4 クログワイ	AC-014A-1kg 粒, KUH-003D-0.25kg 粒, KUH-004D-1kg 粒, KUH-958 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, MAT-159 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, MY-100DC-1kg 粒, MY-100DCⓁ-1kg 粒, NOJ-101-1kg 粒, YH-651 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	AVH-002-1kg 粒, KUH-003K-0.25kg 粒, KUH-004K-1kg 粒, KUH-985Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, MY-100DC ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, MY-100DCⓁ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NH-003-1kg 粒, SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	FSS-115 粒, KUH-003D ｼﾞｬﾝﾎﾞ, KUH-013K-0.25kg 粒, Mon-923-1kg 粒, MY-100NC-1kg 粒, NBA-071-1kg 粒, NBA-131b-1kg 粒, NH-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, NH-104-1kg 粒, NOJ-104-1kg 粒, TH-001Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	KPP-2008 乳(EW), KUH-013D-0.25kg 粒, MK-243D-1kg 粒, Mon-923Ⓛ-1kg 粒, MY-100NDC-1kg 粒, NBA-131a-1kg 粒, NC-390 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NOJ-103-1kg 粒, TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-641-1kg 粒
A-4 コウキヤガラ	SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ		TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	

区　分	実・継		継	
A-4 シズイ	KUH-003K-0.25kg 粒, KUH-013K-0.25kg 粒, NH-003-1kg 粒, NOJ-101-1kg 粒, SB-554 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	KUH-004K-1kg 粒, Mon-923-1kg 粒, NH-803 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SB-533 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	MCP･BAS(Na) 粒,	NOJ-103-1kg 粒
A-4 ミズアオイ	AGH-975 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, KUH-003K-0.25kg 粒, Mon-923-1kg 粒, TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	HSW-012 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, KUH-013K-0.25kg 粒, SB-533P5(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ, YH-591-1kg 粒	AVH-002-1kg 粒, NBA-131a-1kg 粒, SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, YH-546 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-650-1kg 粒,	CG-113(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ, NC-397-1kg 粒, TH-547-1kg 粒, YH-641-1kg 粒, YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ
A-4 SU-Rコナギ	AVH-002-1kg 粒, SB-554 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-546 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	NBA-131b-1kg 粒, SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ,	AC-014A-1kg 粒, NBA-141b-1kg 粒, NH-104-1kg 粒, YH-641-1kg 粒,	Mon-923Ⓛ-1kg 粒, NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, TH-547-1kg 粒, YH-650-1kg 粒
A-4 SU-Rホタルイ	AGH-975 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, CG-113(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ, Mon-923-1kg 粒, MY-100MS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SB-533 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SB-556 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ	AVH-002-1kg 粒, HSW-012 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, MY-100DCⓁ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NBA-131a-1kg 粒, SB-554 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ, TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	DKH-311-1kg 粒, NBA-131b-1kg 粒, NBA-141b-1kg 粒, NH-104-1kg 粒, SW-024Ⓗ ｼﾞｬﾝﾎﾞ, TH-547-1kg 粒	MY-100NC 顆粒水和, NBA-141a-1kg 粒, NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SW-002 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SW-024Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ,
B 直播栽培	AGH-925-1kg 粒, B-3015P 乳, KUH-972D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, KUH-985Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NBA-941S-1kg 粒, PSSⓁD-1kg 粒, SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, TH-913NCS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ 乳	B-3015 乳, B-3015P 粒, KUH-985 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NBA-941-1kg 粒, NBA-942b-1kg 粒, SW-002 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SW-973-1kg 粒, YF-65Ⓛ 液,	KUH-011D-1kg 粒, KUH-013D-0.25kg 粒, KUH-962-1kg 粒, MY-100DCⓁ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NBA-071-1kg 粒, NC-385SB 顆粒水和, SB-556 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ,	KUH-011K-1kg 粒, KUH-013K-0.25kg 粒, KUH-983-1kg 粒, MY-100TSC ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, NC-331 水和剤, NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ, SW-991-1kg 粒
C 畦畔	2,4-PA 液		AH-01 液剤	
E 休耕田	NH-007 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ			
F 生物除草剤	MTB-951			
その他	DEH-112 乳(EW)			

注):1)本年度新規に使用基準を作成されたものは、薬剤名にアンダーラインを記した。

2)本年度は「実」,「継？」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

※　薬剤名はアルファベット順に記載した。

平成15年度 水稲作関係除草剤使用基準一覧表

A 移植栽培

A-1 一発処理

A-1
AC-014C① ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L	50g×10ｺ/10a	●	○
東北	○2	○	○始	○始	○始	○始			○発生期						○	○
北陸	○2	○	○始		○始	○始									○	○
関東・東海	○2	○	○始		○始	○始			○発生期		●前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○始			○発生期		○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
AC-014R ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○2		○前※	○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L	20g×10ｺ/10a	○	○
東北	○2	○	○2		○2	○始	○前※	○前※	○発生期		○前				○	○
北陸	○2	○	○2		○2	○始		○前※	○発生期						○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始	○前※	○前※	○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期		○前				○	○
九州	○2	○	○2	○前	○2	○始	○前※	○前※	○発生期		○前				○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
AGH-925-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3*	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L(*:砂壌土は～2.5L)	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3*	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L(*:砂壌土は～2.5L)		○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L		○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
AVH-002-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○前※	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L	+3～ノビエ1.5L	1kg/10a	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:1L				○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			●発生期	●再生前～始	●前				●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	●始			○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性コナギ:子葉期			●	○
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
BAG-021 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														25g×10コ/10a		
東北	●2	●	●始	●始	●始	●始			●発生期		●前		+1～ノビエ2L			●
北陸	●2	●	●始		●始	●始			●発生期							●
関東・東海	●2	●	●始		●2	●始					●前				●	●
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1 BAG-032 ジャンボ　「継」

A-1 BCH-031-1kg 粒　「継」

A-1 BCH-032-1kg 粒　「継」

A-1 BCH-033-1kg 粒　「継」

A-1 BCH-034-1kg 粒　「継」

A-1 BCH-035-1kg 粒　「継」

A-1 DKH-311-1kg 粒　「継」

A-1 HOK-0301-1kg 粒　「継」

A-1 HOK-201D フロアブル　「継」

A-1 HOK-201DS フロアブル　「継」

A-1
HOK-221 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×10コ/10a		
東北																
北陸	●2	●	●始		●始	●始			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2L			●
関東・東海	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
九州	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
HOK-222 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L	500ml/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L			●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1 HOK-222-1kg 粒 「継」

A-1
HOK-223 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L		●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 HOK-223-1kg 粒 「継」

A-1 HOK-225-1kg 粒 「継」

A-1
HOK-991 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始									+3～ノビエ1.5L	50g×10コ/10a		○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始											○
北陸	○1.5	○	○始		○始											○
関東・東海	○1.5	○	○始		○前	○始									○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
HSW-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期		○前	ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能　　水口処理可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1　KPP-444-1kg 粒　「継」

A-1　KPP-444Ⓛ-1kg 粒　「継」

A-1
KUH-003D ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														25g×10コ/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始			+3～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
KUH-003D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														250g/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生期	○再生前～始			+1～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
湛水周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-003K ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	25g×10コ/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
KUH-003K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:始	+3～ノビエ2.5L	250g/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	●前※	●前※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
湛水周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-004D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2	●始※			○再生前～始			+0～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L		○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-011D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能(北陸, 関東・東海, 近畿・中国・四国, 九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-011K-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	1kg/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能(北海道, 東北)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
KUH-013D ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														25g×10コ/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L		●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始					●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2				●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
KUH-013D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														250g/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

湛水周縁部散布可能(北陸, 関東・東海, 近畿・中国・四国, 九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-013D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ3L			●
関東・東海	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
九州	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-013K ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●始		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	25g×10㎡/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
KUH-013K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:1L	+3～ノビエ2.5L	250g/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-013K-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ3L	1kg/10a		●
東北	●3	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
KUH-021-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ3L	1kg/10a		●
東北	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●3	●	●3		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●3	●	●3		●3	●3			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 KUH-023D ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

A-1
KUH-023D ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●始	●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
KUH-023D-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														250g/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

湛水周縁部散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 KUH-023K ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

A-1
KUH-023K ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	500ml/10a		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
KUH-023K-0.25kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	250g/10a		●
東北	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 KUH-032-0.25kg 粒 「継」

A-1
KUH-985 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	500ml/10a	○	○
東北	○3	○	○2	●前	○2	○2	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm	+0～ノビエ3L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能(東北)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
KUH-985Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前		+0～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
田植同時散布可能(北陸, 関東・東海, 近畿・中国・四国, 九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
Mon-923-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:始 SU抵抗性ホタルイ:1L	+0～ノビエ1.5L	1kg/10a	●	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:1L				○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
Mon-923Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始			●発生期	●再生前～始	○前		+0～ノビエ1.5L			○
関東・東海 (普)	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四 (普)	○1.5	○	○始		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
MY-100D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L			○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
MY-100D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L			○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
MY-100DC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2		●前	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	●前※	●前※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100DC㊐ ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2L	50g×10コ/10a	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
MY-100DCⓁ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×10ｺ/10a		
東北																
北陸	○2	○	○2		○2	○始							+3～ノビエ2L		●	○
関東・東海	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○
九州	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2L(早期は+5～)		○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
MY-100DCⓁ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始			+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始	○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2	●始※	●始※	○再生前～始	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
MY-100MS ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始							+1～ノビエ1.5L	50g×10ｺ/10a	○	○
東北	○1.5	○	○始		○前	○始									○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
MY-100MS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始							+0～ノビエ1.5L	500ml/10a	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始									○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始									●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始						SU抵抗性ホタルイ:1L			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始									○	○

田植同時散布可能(近畿・中国・四国, 九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
MY-100NC ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ/10a		○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
MY-100NC 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	80g/10a(散布液量500ml/10a)		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

田植同時散布可能(北海道, 東北)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
MY-100NC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)	1kg/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+1～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能(関東・東海)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
MY-100NDC-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
MY-100TSC フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	●前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

田植同時散布可能(北海道,東北,北陸, 関東・東海, 近畿・中国・四国, 九州)　水口処理可能(東北)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-071-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前	ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能(東北, 北陸, 関東・東海)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-071DEH-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a		○
東北	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2										○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
九州	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-073-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L ~~(砂壌土は+5～)~~		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L (砂壌土は+5～)		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能(東北, 北陸, 関東・東海, 近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-074-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始			○始			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2L	1kg/10a		○
東北	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始									○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能(東北, 北陸～近畿・中国・四国, 九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-076b-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2	○	○2		○2	○2				○再生前～始			+0～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NBA-093(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	40g×10コ/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	●前				●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				●	○
近・中・四　(普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	●前				●	○
九州　(普)	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
NBA-096b ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○2	○	○2		○始	○始				○再生前～始	○前		+0～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○始		○2	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

水口処理可能(北陸)　　田植同時散布可能(北陸，関東・東海～九州)
※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NBA-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○前		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	40g×10コ/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
NBA-101SB ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+1～ノビエ2.5L	30g×10コ/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+1～ノビエ2L			●
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
NBA-131a-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前	ｺｿﾞﾉｶﾞﾔﾂｶｶﾞｻ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+0～ノビエ2L	1kg/10a	●	○
東北	○2	○	○2		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L			●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能(北海道，東北)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
NBA-131b-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2	○	○2		○2	○始				○再生前～始	○前		+0～ノビエ2L		●	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ｺﾅｷﾞ:1L			●	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

田植同時散布可能(北陸，関東・東海，近畿・中国・四国，九州)
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-141a-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L			●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
NBA-141b-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+0～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L			●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-142-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	●2	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2L			●
北陸	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四 (普)	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2L (ただし早期は+1～)		●	●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NBA-941S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸	●3	●	●2		●2	●2										●
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始						○
近・中・四	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-339-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○前※	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		○
東北	○2.5	○	○2		○2	○2	○前※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ：発生始～3cm				○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前					○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-385 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	60g/10a(散布液量250～500ml/10a)	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～,水口処理は+5～)		○	○
北陸	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L(砂壌土は+5～,水口処理は+5～)		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

顆粒のまま水口処理が可能(東北～近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-385SB 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	80g/10a(散布液量500ml/10a)	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始					●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
九州　(普)	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2L		●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-385SB-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2.5L			●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期				+5～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
NC-390 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2			○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	500ml/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:発生始～3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○

水口処理可能(東北,関東・東海～近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NC-391Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○*	○

~~*:早期は砂壌土を除く(九州)~~
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
NC-397-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ1.5L	1kg/10a		○
東北	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
NC-604 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	500ml/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期							●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 NC-606-1kg 粒 「継」

A-1
NCH-903DEH ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○始	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	40g×10コ/10a		○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L			○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始						○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
NH-003-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2		●前	○発生期	○再生前～始	○前	ミズアオイ:1L エゾノサヤヌカグサ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2		○2	○始	●前※	●前※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	50g×10コ/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	イボクサ:再生始			●	○
近・中・四 （普）	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
NH-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始			+5～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	イボクサ:再生始			●	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 NH-301-1kg 粒 「継」

A-1 NH-302 フロアブル 「継」

A-1
NH-803 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		○前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前※	○始※	○発生期	○再生前～始	○前	クサネム:発生始 シズイ:草丈3cm	+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理可能(東北)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NH-806 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×10コ/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生期	○再生前～始	○前	イボクサ:再生始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5*	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L(*:早期は～ノビエ2L)		○	○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NOJ-101-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		●前	○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2	●前※	●前※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前					○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	●前※	●始※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	●前※		○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
NOJ-103-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	1kg/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
NOJ-104-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始			+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
ONC-381 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○始			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2L	30g×10コ/10a	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始		タウコギ:子葉期			○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと, 部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
PSS①D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期		○前		+0～ノビエ2L		○	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			●発生期		○前				○	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○

田植同時散布可能(東北, 北陸, 関東・東海)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え、植付け精度不良で根が露出すると薬害を生じることがある。

A-1
SB-526 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●始	●2					●発生期				+3～ノビエ2L	500ml/10a		●
東北	●2	●	●2	●始	●2				●発生期							●
北陸	●2	●	●2		●始				●発生期							●
関東・東海	●2	●	●2		●始				●発生期							●
近・中・四 (普)	●2	●	●2		●始				●発生期						●	●
九州	●2	●	●2		●始				●発生期							●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SB-526-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2	●	●2	●2					●発生期				+3～ノビエ2L	1kg/10a		●
東北	●2	●	●2	●始	●2				●発生期							●
北陸	●2	●	●2		●始				●発生期							●
関東・東海	●2	●	●2		●始				●発生期							●
近・中・四	●2	●	●2		●2				●発生期							●
九州	●2	●	●2		●始				●発生期						●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SB-533P5(改) ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始					○発生期			ミズアオイ:1L	+1～ノビエ1.5L	50g×5コ/10a	●	○
東北	○1.5	○	○始		○始				○発生期				+0～ノビエ1.5L		●	○
北陸	○1.5	○	○始		○始				○発生期						●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始										○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始										●	○
九州 (普)	○1.5	○	○始		○始				○発生期				+1～ノビエ1.5L		●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
SB-554 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始					○発生期				+0～ノビエ1.5L	50g×10コ/10a	●	○
東北	○1.5	○	○始		○始		○前※		○発生期			シズイ:草丈3cm			●	○
北陸	○1.5	○	○始		○始				○発生期						●	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始		○前※		○発生期						●	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○前	○前			○発生期				+0～ノビエ1.5L		○	○
九州	○1.5	○	○始	○前	○前	○前			○発生期				+0～ノビエ1.5L		○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
クログワイ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-554 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始					●発生期			SU抵抗性ホタルイ:1.5L	+0～ノビエ1.5L	500ml/10a		●
東北	●1.5	●	●始		●始				●発生期							●
北陸	●1.5	●	●始		●始											●
関東・東海	●1.5	●	●始		●始				●発生期			SU抵抗性コナギ:1L				●
近・中・四 (普)	○1.5	○	○始		○始	○前							+0～ノビエ1.5L		●	○
九州	○1.5	○	○始	○前	○始	●前			○発生期				+0～ノビエ1.5L		●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SB-556 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期			ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L ﾐｽﾞｱｵｲ:1L	+0～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期			ｼｽﾞｲ:発生始～3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生期						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2						SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期						○	○

水口処理可能(北海道～北陸, 九州)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SB-559Ⓗ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
SB-559Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始			+3～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1　SB-563Ⓗ-1kg 粒　「継」

A-1　SB-563Ⓛ-1kg 粒　「継」

A-1
SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2	○	○2	○始		○2			○発生期			ｴｿﾞﾉｻﾔﾇｶｸﾞｻ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L	+3～ノビエ2L	50g×10コ/10a	●	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期	○再生前～始	○前	ｼｽﾞｲ:草丈3cm SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L			●	○
北陸	○2	○	○2		○始	○始			●発生期						●	○
関東・東海	○2	○	○2		○2	○始			○発生期			SU抵抗性ｺﾅｷﾞ:2L SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:2L			●	○
近・中・四 ~~(普)~~	○2	○	○2		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○2	○	○2		○2	○2			○発生期		○前	ｺｳｷﾔｶﾞﾗ:発生始			○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-002Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●前					+3～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海（普）	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前	SU抵抗性ホタルイ:2L			●	○
近・中・四（普）	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
水口処理可能(北陸)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
SW-005 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	500ml/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
SW-005Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2							+3～ノビエ2.5L			●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四（普）	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-012Ⓗ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L	1kg/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
SW-012Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	○前		+3～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	●再生前～始	●前				●	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	○再生前～始	○前				●	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-023Ⓗ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1
SW-023Ⓛ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L			●
関東・東海 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四 (普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SW-024Ⓗ ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L	40g×10コ/10a		●
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと，部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
SW-024Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														40g×10コ/10a		
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2.5L		●	○
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
近・中・四　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1　SW-031Ⓛ-1kg 粒　「継」

A-1　SW-032 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ　「継」

A-1　SW-032Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ　「継」

A-1
SW-952Ⓛ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														30g×10コ/10a		
東北																
北陸	○2	○	○2	○2	○始	○2		○始※	○発生期	○再生前～始			+3～ノビエ2L		○	○
関東・東海	○2	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○2	○	○2		○2	○2	○始※	○前※	○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5*	○	○2		○2	○2	○始※	○前※	○発生期	○再生前～始		ｺｳｷﾔｶﾞﾗ：発生始	+3～ノビエ2.5L(*:ただし早期は2Lまで)		○	○

※：オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1
SW-991-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2			○発生期		○前	ｴｿﾞﾉｻｷﾔﾇｶｸﾞｻ:2L	+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	○	○
東北	○2	○	○2	○始	○始	○始			○発生期				+5～ノビエ2L			○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2					○前		+5～ノビエ2.5L			○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期		○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2									○	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2	○2			○発生期						○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
SYJ-108 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●始		+5～ノビエ3L	30g×10ｺ/10a		●
東北	●3	●	●2	●2	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海（普）	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四（普）	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州（普）	●3	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前					●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

A-1　SYJ-150 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ　「継」

A-1
TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●前	○発生期	○再生前～始	○前	エゾノサヤヌカグサ:2L ミズアオイ:1L	+5～ノビエ2.5L	500ml/10a	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○2		●始※	○発生期	○再生前～始	○前	シズイ:草丈3cm SU抵抗性ホタルイ:2L			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2				○再生前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○

※：オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
水口処理可能（東北）
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
TH-001Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+3～ノビエ2L			●
関東・東海	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四	●2	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
九州	●2	●	●2		●始	●2			●発生期	●再生前～始					●	●

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
TH-001-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期	●再生前～始	●前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前					●
北陸	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生期	●再生前～始						●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

A-1 TH-122-1kg 粒 「継」

A-1 TH-421 ジャンボ 「継」

A-1 TH-547-1kg 粒 「継」

A-1
TH-913NCS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ3L	500ml/10a	○	○
東北	○3	○	○2	○始	○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始					○	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				○	○
九州	○3	○	○2	○前	○2	○2			○発生期	○再生前～始					○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
YH-546 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○始		○2							+3～ノビエ2.5L	500ml/10a		○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始							+3～ノビエ2.5L			○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始									●	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○始						SU抵抗性コナギ:2L	+3～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○始									●	○
九州	○2.5	○	○2	○前	○2										●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
YH-641-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始	○前		+5～ノビエ2.5L	1kg/10a	●	○
東北	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始			●発生期	○再生前～始						○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生期	○再生前～始	○前				●	○
近・中・四　(普)	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生期	○再生前～始	○前					○
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1
YH-652 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●2		●2			●発生期			SU抵抗性ホタルイ:2L	+5～ノビエ2.5L	500ml/10a		●
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●始			●発生期			SU抵抗性ホタルイ:2L				●
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2	●始※		●発生期							●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2	●始※		●発生期							●
近・中・四　(普)	●2.5	●	●2		●2	●2	●前		●発生期							●
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期		●前					●

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-1
YH-652-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	●2.5	●	●2	●始	●始	●始			●発生期				+5～ノビエ2.5L			●
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期				+5～ノビエ2.5L			●
近・中・四																
九州	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期				+5～ノビエ2.5L		●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1
YH-655-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始	●前		+0～ノビエ2L			●
北陸	●2	●	●始		●始	●始										●
関東・東海	●2	●	●2		●2	●始			●発生期	●再生前～始						●
近・中・四　(普)	●2	●	●2		●2	●始			●発生期							●
九州	●2	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+1～ノビエ2L		●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:　散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-2 体系処理(初期)

A-2
AVH-006 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北	○1	○	○始								○前		植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	●1	●	●始												●	●
関東・東海 (善)	○1	○	○始								○前					○
近・中・四 (善)	○1	○	○始								○前					○
九州 (善)	○1	○	○始								●前				●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
CG-113 EW

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+0～+5(ノビエ1L)	100ml/10a (原液または500ml/10a以下の散布液量に希釈)	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
CG-113(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:前	+0～+5(ノビエ1L)(砂壌土は+1～)	30g×10ｱ/10a	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○始								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										●	○
近・中・四	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)(砂壌土は+1～)		○	○
九州	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。

A-2 G-315B 乳 「継」

A-2
HSW-012 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始			○発生期			ﾐｽﾞｱｵｲ:始 SU抵抗性ﾎﾀﾙｲ:1.5L	+0～ノビエ1.5L	500ml/10a	●	○
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 HSW-012 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布) 「継」

A-2
KH-183①-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1.5	●	●始	●始							●始		+3～ノビエ1.5L	1kg/10a		●
東北	●1.5	●	●始	●始							●始		植代後～-4,+3～ノビエ1.5L			●
北陸	●1.5	●	●始		●始						●始					●
関東・東海 (普)	●1.5	●	●始		●始						●始					●
近・中・四 (普)	●1.5	●	●始		●始						●始					●
九州	●1.5	●	●始		●始						●始					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
KPP-2008 乳(EW)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								ミズアオイ:始	+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	○1	○	○始		○始										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。
イネに付着すると軽微な薬害を生じることがある。

A-2
KPP-2008-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●1	●	●始	●始									+0～+5(ノビエ1L)	1kg/10a		●
東北	●1	●	●始	●前	●始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			●
北陸	●1	●	●始		●始											●
関東・東海	●1	●	●始		●始											●
近・中・四 (普)	●1	●	●始		●始											●
九州	●1	●	●始		●始											●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
KPP-2011 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a	●	○
東北	○1	○	●始		●前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)			○
北陸	○1	○	○始		○前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
関東・東海 (普)	○1	○	○前		○前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
近・中・四 (普)	○1	○	○始		○前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
九州	●1	●	●始		●始										●	●

一発処理型除草剤の前処理として使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
MAT-159 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+1～+5(ノビエ1L)	50g×10ｺ/10a	○	○
東北	○1	○	○始	○始	○前								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	○1	○	○始		○前										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始		●前※									○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-2
MY-100MS ﾌﾛｱﾌﾞﾙ(少量散布)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始		○始							+0～+5(ノビエ1L)	300ml/10a		○
東北	○1	○	○始	○始	○始	●始									●	○
北陸	○1	○	○始		○始	○始										○
関東・東海 (普)	○1	○	○始		○始	○始										○
近・中・四 (普)	○1	○	○始		○始	○始							+0～+5(ノビエ1L)(砂壌土は+4～)		○	○
九州	○1	○	○始		○始								+0～+5(ノビエ1L)		○	○

一発処理型除草剤の前処理として少量散布(300ml/10a)が可能。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2
RYH-118-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○											+0～+5(ノビエ1L)	1kg/10a	○	○
東北	○1	○											植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○													○	○
関東・東海	○1	○													○	○
近・中・四	○1	○													○	○
九州	○1	○													○	○

一発処理型除草剤の前処理として使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2
SB-528Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始									+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a	●	○
東北	○1	○	○始	●前									植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
北陸	○1	○	○始		○前								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		●	○
関東・東海	○1	○	○始		○始										●	○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始	○前	○始										○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 SB-566 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-2 SB-566-1kg 粒 「継」

A-2
YH-562 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○始							○前		+0～+5(ノビエ1L)	500ml/10a		○
東北	○1.5	○	○始	○始							○前		+0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始								○前				○	○
関東・東海	○1.5	○	○始								○前		植代後～-4,+0～ノビエ1.5L		○	○
近・中・四	○1	○	○始										+0～+5(ノビエ1L)		○	○
九州	○1	○	○始													○

田植同時散布可能(東北～近畿・中国・四国)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 YH-650 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-2 YH-650-1kg 粒 「継」

A-2
YH-651 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸																
関東・東海	●1.5	●	●始		●始		●前※				●始		植代後～-4,+0～ノビエ1.5L			●
近・中・四																
九州																

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-2
ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前									+1～+5(ノビエ1L)	50g×10ｺ/10a	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		○	○
北陸	○1	○	○始		○前										○	○
関東・東海	○1	○	○始		○前											○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。

A-2
ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙｰ1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○1	○	○始	○前								ﾐｽﾞｱｵｲ:始	+1～+5(ノビエ1L)	1kg/10a	○	○
東北	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)(砂壌土は+1～)		○	○
北陸	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+0～+5(ノビエ1L)		○	○
関東・東海	○1	○	○始		○始								植代後～-4,+1～+5(ノビエ1L)		○	○
近・中・四	○1	○	○始		○始										○	○
九州	○1	○	○始		○始										○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え, 植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。

A-3 体系処理(中後期)

A-3
DASH-001 SC

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														100ml/10a(散布液量100L/10a)		
東北	●5	●	●花茎抽出始	●4	●4	●4							+25～+40(イネ6L以降,ノビエ5Lまで)			●
北陸	●5	●	●花茎抽出始		●4	●5										●
関東・東海	●5	●	●花茎抽出始		●5	●5			●生育期	●生育期						●
近・中・四 (普)	●5	●	●花茎抽出始		●4	●4										●
九州	●5	●	●花茎抽出始		●6	●6			●生育期	●生育期						●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 落水もしくは浅水で管理し、2日間以上入水しない。
前処理剤との組合せで使用する。

A-3 DBH-1291 乳 「継」

A-3
KUH-011D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+15～+25(ノビエ2.5Lまで)		●	●
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●
九州	●2.5	●	●2	●前	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前				●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組合せで使用する。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-3
KUH-011K-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+15～+25(ノビエ2.5L)		●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 前処理剤との組合せで使用する

A-3
KUH-983-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○4												+15～+35(ノビエ4L)	1kg/10a	●	○
東北	○4														○	○
北陸	○4														●	○
関東・東海 (普)	○4														●	○
近・中・四	○4														○	○
九州 (普)	○4														○	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
MCP・BAS(Na) 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道		○生育期	○4	○5									幼穂形成始期	3～4kg/10a		○
東北		○生育期	○4	○6	●6	●塊茎形成前				●増殖期			有効分けつ終止期～幼穂形成期前	(北陸,九州の砂壌土は3kg/10a)		○
北陸		○生育期	○4	○5	●6	●塊茎形成前			●発生期						●	○
関東・東海		○生育期	○4		○6	○塊茎形成前									○	○
近・中・四		○生育期	○4		○6	○塊茎形成前										○
九州		○生育期	○5		○6	○塊茎形成前									●	○

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないと効果が低下することがある。

A-3
MK-243SM ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●2.5	●	●2	●3		●2					●始		+20～+30(イネ5L以降,ノビエ2.5Lまで)	50g×10コ/10a		●
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2					○前					○
北陸	●2.5	●	●2		●始	●2										●
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2					○前					○
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
MY-100DCⓁ-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+15～+25(ノビエ2.5Lまで)		●	●
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
NBA-071-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸																
関東・東海																
近・中・四	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+15～+25(ノビエ2.5Lまで)		●	●
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
NC-329-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前	シズイ:発生始～3cm コウキヤガラ:発生始 タウコギ:本葉1葉期	+15～+25(ノビエ2.5L)		●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　前処理剤との組合せで使用する。
　　コウキヤガラ・シズイ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する。

A-3
NH-806 ジャンボ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×10コ/10a		
東北																
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2		●始※	●発生期	●再生前～始	●前	イボクサ:再生始	+15～+25(ノビエ2.5Lまで)		●	●
近・中・四																
九州																

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：　5cm程度の水深で散布する。
　　散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
　　前処理剤との組合せで使用する。
　　オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-3
SB-551-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														1kg/10a		
東北																
北陸	○3	○	○3		○2	○2							+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3Lまで)		●	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2			○発生期						○	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2			○発生期						○	○
九州	○3	○	○3		○2				○発生期						○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
TH-001 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														500ml/10a		
東北																
北陸																
関東・東海	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生期	●再生前～始	●前		+15～+25(ノビエ2.5Lまで)		●	●
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
YH-591-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	○3	○	○2			○2					○始	ミズアオイ:4L	+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3Lまで)	1kg/10a		○
東北	○3	○	○2		○始	○始									○	○
北陸	○3	○	○2		○始	○2					○前				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○3					○始				○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3					○始					○
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
YH-653-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道	●3.5	●	●3	●3		●3					●始		+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)	1kg/10a		●
東北																
北陸	●3.5	●	●3		●2	●2			●発生期				+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)			●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3
モリネートSM ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道														50g×20コ/10a		
東北	●3.5	●	●3	●3	●2	●2					●始		+20～+30(イネ5L以降,ノビエ3.5Lまで)			●
北陸	●3.5	●	●3													●
関東・東海	●3.5	●	●3		●3	●3					●始					●
近・中・四 (普)	●3.5	●	●3		●3	●2					●始					●
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(イボクサ)

A-4 イボクサ
KUH-911 液

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			50～100ml/10a (散布液量100L/10a)
東北			
北陸			
関東・東海	●	+30～+50 (茎長20cm以下)	
近・中・四			
九州			

使用上の注意: 落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。

A-4 イボクサ NH-003-1kg 粒 「継」

A-4 イボクサ
NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	再生始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意:

A-4 イボクサ
NH-104-1kg 粒

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	再生始	
近・中・四			
九州			

使用上の注意:

A-4 イボクサ
SB-533 フロアブル

地域名	対象雑草: イボクサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	再生始	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 イボクサ SB-533P5(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

A-4 イボクサ SB-556 フロアブル 「継」

A-4 イボクサ SW-991-1kg 粒 「継」

A-4 特殊雑草対象(エゾノサヤヌカグサ)

A-4 エゾノサヤヌカグサ
AVH-002-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
NBA-131a-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
NH-003-1kg 粒

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 エゾノサヤヌカグサ
SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	50g×10ｺ/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 特殊雑草対象(オモダカ)

A-4 オモダカ
AC-014A-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	○	前	※	1kg/10a
東北	○	前	※	
北陸	○	前	※	
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前	※	
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ KUH-003D ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

A-4 オモダカ
KUH-003D-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				250g/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
KUH-003K-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				250g/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
KUH-004D-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
KUH-004K-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ KUH-013D-0.25kg 粒 「継」

A-4 オモダカ KUH-013K-0.25kg 粒 「継」

A-4 オモダカ MK-243D-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ Mon-923-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ Mon-923Ⓛ-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ
MY-100DC-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	●	前		1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
MY-100DCⓁ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
MY-100DCⓁ-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始		
九州	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ MY-100NC 顆粒水和 「継」

A-4 オモダカ NBA-131a-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ NBA-131b-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ NC-385SB 顆粒水和 「継」

A-4 オモダカ
NH-003-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	●	前		1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ NH-101 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

A-4 オモダカ NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-4 オモダカ NH-104-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ
NOJ-101-1kg 粒

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	●	前		1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ NOJ-103-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ NOJ-104-1kg 粒 「継」

A-4 オモダカ
SW-002① ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸	●	前		
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ
TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道	●	前		1kg/10a
東北	●	始	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ YH-641-1kg 粒 「継」

A-4 特殊雑草対象(クサネム)

A-4 クサネム
KUH-911 液

地域名	対象雑草: クサネム	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
全域	○	草丈40cm以下(+30～+50) (九州は 草丈30cm以下)	25～50ml/10a(散布液量100L/10a) 展着剤加用

使用上の注意: 落水もしくは浅水で散布し, 2日間以上入水しない。

A-4 特殊雑草対象(クログワイ)

A-4 クログワイ
AC-014A-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	○	前	※	
北陸				
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
AVH-002-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	○	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ FSS-115 粒 「継」

A-4 クログワイ KPP-2008 乳(EW) 「継」

A-4 クログワイ KUH-003D ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

A-4 クログワイ
KUH-003D-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				250g/10a
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
KUH-003K-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				250g/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
KUH-004D-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
KUH-004K-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ KUH-013D-0.25kg 粒 「継」

A-4 クログワイ KUH-013K-0.25kg 粒 「継」

A-4 クログワイ
KUH-958 フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	○	前	※	
北陸	●	前	※	
関東・東海	○	前	※	
近・中・四	○	前	※	
九州	○	前	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
KUH-985Ⓛ フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	○	始	※	
近・中・四	○	始	※	
九州	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
MAT-159 ジャンボ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				50g×10コ/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	前	※	
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ MK-243D-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ Mon-923-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ Mon-923Ⓛ-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ
MY-100DC フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
MY-100DC-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
MY-100DCⓁ フロアブル

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
MY-100DCⓁ-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北				
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	始	※	
九州	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ MY-100NC-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ MY-100NDC-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ NBA-071-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ NBA-131a-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ NBA-131b-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ NC-390 フロアブル 「継」

A-4 クログワイ
NH-003-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ NH-101 ジャンボ 「継」

A-4 クログワイ NH-102 フロアブル 「継」

A-4 クログワイ NH-104-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ
NOJ-101-1kg 粒

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				1kg/10a
東北	●	前	※	
北陸				
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	前	※	
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ NOJ-103-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ NOJ-104-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ
SW-002Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海				
近・中・四				
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-4 クログワイ TH-001Ⓛ ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-4 クログワイ YH-641-1kg 粒 「継」

A-4 クログワイ
YH-651 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸	●	前	※	
関東・東海	●	前	※	
近・中・四	●	前		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ
YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量
北海道				500ml/10a
東北				
北陸	●	始	※	
関東・東海	●	始	※	
近・中・四	●	前		
九州				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(コウキヤガラ)

A-4 コウキヤガラ
SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			50g×10ｺ/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-4 特殊雑草対象(シズイ)

A-4 シズイ
KUH-003K-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			250g/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
KUH-004K-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
KUH-013K-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			250g/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ MCP・BAS(Na) 粒 「継」

A-4 シズイ
Mon-923-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
NH-003-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
NH-803 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
NOJ-101-1kg 粒

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ NOJ-103-1kg 粒 「継」

A-4 シズイ
SB-533 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
SB-554 ジャンボ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			50g×10コ/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
SL-954 ジャンボ

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			50g×10コ/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 シズイ
TH-001 フロアブル

地域名	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	草丈3cm	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: シズイ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 特殊雑草対象(ミズアオイ)

A-4 ミズアオイ
AGH-975 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ AVH-002-1kg 粒 「継」

A-4 ミズアオイ CG-113(改) ジャンボ 「継」

A-4 ミズアオイ
HSW-012 フロアブル

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	始	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
KUH-003K-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	始	250g/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
KUH-013K-0.25kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	250g/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ
Mon-923-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	始	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ NBA-131a-1kg 粒 「継」

A-4 ミズアオイ NC-397-1kg 粒 「継」

A-4 ミズアオイ
SB-533P5(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	50g×5コ/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ 「継」

A-4 ミズアオイ
TH-001 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 ミズアオイ TH-547-1kg 粒 「継」

A-4 ミズアオイ YH-546 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-4 ミズアオイ
YH-591-1kg 粒

地域名	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	4L	1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: 前処理剤との組合せで使用する。			

A-4 ミズアオイ YH-641-1kg 粒 「継」

A-4 ミズアオイ YH-650-1kg 粒 「継」

A-4 ミズアオイ YH-652 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-4 特殊雑草対象(SU抵抗性コナギ)

A-4 SU抵抗性コナギ AC-014A-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性コナギ
AVH-002-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性コナギ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	子葉期	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性コナギ Mon-923①-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性コナギ
NBA-131b-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性コナギ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	1L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性コナギ NBA-141b-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性コナギ NH-102 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ 「継」

A-4 SU抵抗性コナギ NH-104-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性コナギ
SB-554 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名	対象雑草: SU抵抗性コナギ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	1L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性コナギ
SL-954 ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: SU抵抗性コナギ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			50g×10ｺ/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	2L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性コナギ TH-547-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性コナギ
YH-546 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性コナギ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	2L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性コナギ YH-641-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性コナギ YH-650-1kg 粒 「継」

A-4 特殊雑草対象(SU抵抗性ホタルイ)

A-4 SU抵抗性ホタルイ
AGH-975 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
AVH-002-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			1kg/10a
東北	●	1L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
CG-113(改) ｼﾞｬﾝﾎﾞ

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	前	30g×10コ/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意: 有効な剤との組み合わせで使用する。			

A-4 SU抵抗性ホタルイ DKH-311-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ
HSW-012 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1.5L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
Mon-923-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1L	1kg/10a
東北	●	1L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
MY-100DCⓁ フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	1L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
MY-100MS フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	1L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ MY-100NC 顆粒水和 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ
NBA-131a-1kg 粒

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	1k/10a
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ NBA-131b-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ NBA-141a-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ NBA-141b-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ NH-102 フロアブル 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ NH-104-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ
SB-533 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	1L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
SB-554 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	1.5L	500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
SB-556 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	2L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ
SL-954 ジャンボ

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	50g×10コ/10a
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海	●	2L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ SW-002 フロアブル 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ
SW-002Ⓛ フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北			
北陸			
関東・東海	●	2L	
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ SW-024Ⓗ ジャンボ 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ SW-024Ⓛ ジャンボ 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ
TH-001 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道			500ml/10a
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

A-4 SU抵抗性ホタルイ TH-547-1kg 粒 「継」

A-4 SU抵抗性ホタルイ
YH-652 フロアブル

地域名	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量
北海道	●	2L	500ml/10a
東北	●	2L	
北陸			
関東・東海			
近・中・四			
九州			
使用上の注意:			

B 直播栽培

B
AGH-925-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域	○3	○	○2	○2		○2			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ3L	1kg/10a		○

~~湛水直播(北海道, 北陸, 九州)~~
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
B-3015 乳

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域	○1.5	○											播種直後～出芽前	600～1200ml/10a (散布液量70～100L/10a)	○	○
													出芽揃期～ノビエ1.5L	1000～1500ml/10a (散布液量70～100L/10a)		

乾田・落水状態で全面土壌散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B
B-3015P 乳

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域	○1	○											播種直後～イネ出芽前(～ノビエ1L)	600～800ml/10a (散布液量70～100L/10a)	○	○

乾田・落水状態で全面土壌散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B
B-3015P 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域	○始	○											播種直後～イネ出芽前(～ノビエ始)	4～6kg/10a	○	○

乾田・落水状態で全面土壌散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B KUH-011D-1kg 粒 「継」

B KUH-011K-1kg 粒 「継」

B KUH-013D-0.25kg 粒 「継」

B KUH-013K-0.25kg 粒 「継」

B KUH-962-1kg 粒 「継」

B
KUH-972D フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○3~*	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		イネ1L～ノビエ3L~~*(*:九州は2.5Lまで)~~	500ml/10a	●	○

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B KUH-983-1kg 粒 「継」

B
KUH-985 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道, 東北	○3	○	○2		●2								イネ1.5L～ノビエ3L	500ml/10a		○

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
KUH-985Ⓛ フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○3~*	○	○2		○2	○2				○再生前～始	○前		イネ1L*～ノビエ3L* ~~(*:九州は2.5Lまで)~~ (*:砂壌土はイネ1.5L～)	500ml/10a	●*	○

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B MY-100DCⓁ フロアブル 「継」

B MY-100TSC フロアブル 「継」

B NBA-071-1kg 粒 「継」

B
NBA-941-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域（北海道を除く）	○3	○	○2	○2	○2	○2			○発生期	○再生前～始			イネ1L～ノビエ3L（東北はイネ1.5L～）	1kg/10a	●*	○

*: 砂壌土は九州を除く
~~湛水直播(関東・東海,九州)~~
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
NBA-941S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域（北海道を除く）	●3	●	●2		●2					●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L（東北はイネ1.5L～）	1kg/10a		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
NBA-942b-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北陸～九州	○3	○	○2		○2	○2				○再生前～始			イネ1L～ノビエ3L（*:砂壌土はイネ1.5L～）	1kg/10a	●*	○

~~湛水直播(関東・東海,九州)~~
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B NC-331 水和剤 「継」

B NC-385SB 顆粒水和 「継」

B NH-102 フロアブル 「継」

B
PSSⓁD-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域（九州を除く）	●2	●	●2			●2			●発生期				イネ1.5L～ノビエ2L	1kg/10a		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
前処理剤との組み合わせで使用する。

B SB-556 フロアブル 「継」

B
SW-002 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北海道，東北	○2.5	○	○2										イネ1.5L～ノビエ2.5L	500ml/10a		○

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SW-002① フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
北陸～近畿・中国・四国	●2.5	●	●2		●2								イネ1L～ノビエ2.5L	500ml/10a		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
SW-973-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
東北～近畿・中国・四国	○3.5	○	○2	・	○2	●2			●発生期				イネ5L～ノビエ3.5L	1kg/10a		○

湛水直播（関東・東海，近畿・中国・四国）
湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： 著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
前処理剤との組み合わせで使用する。

B SW-991-1kg 粒 「継」

B
TH-913NCS フロアブル

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
全域	●3	●	●2		●2	●2				●再生前～始			イネ1L～ノビエ3L（北海道～北陸はイネ1.5L～）	500ml/10a		●

湛水直播
湛水条件で使用する。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意： イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B
YF-65① 液

地域名		対象雑草	処理時期	使用量（散布液量）	適用土壌
全域	○	一年生雑草	雑草生育期 播種前14日～播種後7日（イネ出芽前）	600～1000ml/10a （散布液量100L/10a）	全土壌

乾田状態で茎葉散布
使用上の注意：

B
ﾌﾞﾀｸﾛｰﾙ 乳

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	砂壌土	壌土～埴土
東北，関東・東海～九州	●前	●前	●前										入水前10日～2日（イネ出芽揃期以降）	500～1000ml/10a（散布液量100L/10a）		●

本剤処理前に発生した雑草は防除しておく。
乾田状態で全面土壌散布
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

C　畦畔雑草

C
2,4-PA 液

地域名		対象雑草	処理時期	使用量（散布液量）	適用土壌
全域	●	広葉雑草およびスギナ	雑草生育期（草丈30cm以下）	100～200ml/10a（散布液量100L/10a）	全土壌

使用上の注意：　のり面には使用しない。
水田内に流入または飛散すると薬害を生じる。

C　AH-01 液剤　「継」

E　休耕田

E
NH-007 ﾌﾛｱﾌﾞﾙ

地域名		対象雑草	処理時期	使用量（散布液量）	適用土壌
全域	●	全草種	雑草生育期（草丈50cm以下）	500～1000ml/10a（散布液量100L/10a）	全土壌

使用上の注意：

F　生物除草剤

F
MTB-951

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	適用土壌
北海道	○2												ノビエ1L～2L	600g/10a（散布液量5L/10a）	全土壌
東北	○2														
北陸	○2														
関東・東海（普）	○1.5												+4（ノビエ始）～ノビエ1.5L		
近・中・四（普）	○1.5														
九州	○1.5														

ノビエが完全に水没する条件で処理し、7日間程度は水深を維持する。
本剤は微生物を利用したノビエ専用除草剤であり効果が変動しやすい。
減水深：2cm/日以下
使用上の注意：

その他

その他
DEH-112 乳(EW)

地域名	ノビエ	一年生広葉・マツバイ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離		処理時期	使用量	適用土壌
北海道	●5												播種後10日～ノビエ5L	100ml/10a (散布液量100L/10a)	
東北															
北陸															
関東・東海															
近・中・四															
九州															

機械移植育苗に使用する

使用上の注意:

水稲関係除草剤使用基準の表示について

1. 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
   (本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
   草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。[例:○始(発生始)、○2(2葉期まで)]
   作期に限定がある場合は、地域名の後に適用作期を普通期:(普), 早期:(早)と記した。
   使用上の注意は別途一覧表に沿って文章で備考欄に記載した。
2. 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、
   処理時期及び使用量を記載した。
   C(畦畔), D(耕起前), E(休耕田)の試験区分において、判定欄の○は前年度までに実用化の
   認められている地域を示す。
3. 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合、
   作期の拡大 : 作期の限定がなくなった場合、作期の記載を取消線で消した。(例: (普))
   草種の拡大 : 拡大可能となった草種に●を印した。
   葉齢の拡大 : 拡大可能となった葉齢に、アンダーラインを付した。(例: ○2.5)
   処理時期,使用量の拡大 : 拡大部分にアンダーラインを付した。(例: +3～ノビエ2L, 50～75ml/a)
   土壌条件の拡大 : 拡大可能となった土壌に●を印した。

前年までの試験経過欄( )内の記号

A 新規年度
Aa 新規年度(但し成分から作用性が予測される剤)
B 他の栽培法、やや異なる処理法
C 継続検討

・既登録薬剤については薬剤名覧[ ]内に商品名を記載した。
・必要に応じて参考となる使用基準を載せた。

訂正版

平成15年度 水稲関係生育調節剤試験成績概要

財団法人　日本植物調節剤研究協会　技術部

平成15年度水稲関係生育調節剤試験成績検討会は、平成15年12月10日、植調会館会議室(東京都台東区)において開催された。

本年は、健苗育成等を目的としたもの4剤(作用性1剤3点，適用性3剤7点)、倒伏軽減を目的としたもの6剤(適用性のべ17点)について試験成績の報告および検討が行われた。

薬剤別の判定結果は、次表の通りである。

平成15年度　水稲関係生育調節剤試験供試薬剤および判定・使用基準一覧

〈健苗育成等〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有率 [委託会社名]	試験目的	判定	実用化に対する処理方法	継続の内容
1	NGR-303 粒 イソプロチオラン:12% [日農]	〔作用性〕 直播水稲の苗立ち向上および初期生育促進効果の確認	―		
2	SF-0303 粉 未公開(既知A):1% 未公開(既知B):4% [三共]	〔適用性〕 根の生育促進、移植時の発根および活着促進、ムレ苗防止	継		・効果・薬害の確認 (成分未公開) ・ムレ苗発生条件での検討
3	SF-0304 液 ヒドロキシイソキサゾール:10% [三共]	〔適用性〕 根の生育促進、移植時の発根および活着促進、ムレ苗防止	継		・効果・薬害の確認 ・ムレ苗発生条件での検討
4	SF-0305 粉 ヒドロキシイソキサゾール:4% [三共]	〔適用性〕 根の生育促進、移植時の発根および活着促進、ムレ苗防止	継		・効果・薬害の確認 ・ムレ苗発生条件での検討

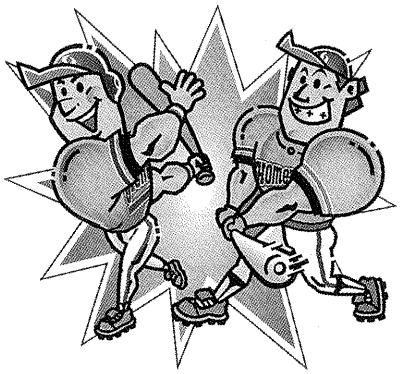
〈倒伏軽減〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有率 [委託会社名]	試験目的	判定	実用化に対する処理方法	継続の内容
1	SSDF-20 粒 ウニコナゾールP:0.003% (N-P-K:20-16-8) [住友化学]	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起～代掻き時 30～40kg/10a	・年次変動の確認
2	SSDF-20S 粒 ウニコナゾールP:0.002% (N-P-K:20-11-11) [住友化学]	〔適用性〕 全面施用・土壌混和 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起～代掻き時 30～40kg/10a	・年次変動の確認
3		〔適用性〕 側条施用 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	継		・年次変動の確認

〈倒伏軽減〉 つづき

No.	薬剤名 有効成分及び含有率 [委託会社名]	試験目的	判定	実用化に対する処理方法	継続の内容
4	SSDF-21 粒 ウニコナゾールP:0.004% (N-P-K:21-11-10) [住友化学]	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起～代掻き時 22.5～30kg/10a	・年次変動の確認
5	SSDF-25 粒 ウニコナゾールP:0.004% (N-P-K:25-10-8) [住友化学]	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起～代掻き時 22.5～30kg/10a	・年次変動の確認
6	SSDF-27 粒 ウニコナゾールP:0.004% (N-P-K:27-10-7) [住友化学]	〔適用性〕 倒伏軽減効果(節間伸長抑制による)および薬害の検討	実・継	全面施用・土壌混和 耕起～代掻き時 22.5～30kg/10a	・年次変動の確認

8剤勢揃い。水田除草は
ホームラン剤でキメる！



草者一掃！
ホームラン剤

「低コスト」「省力」「安全」ニーズに応えるホームラン剤 MK-100

®は登録商標

●ノビエ2.5葉期まで効果がある
(ジャンボ剤は2葉期まで)
●ノビエに対する効果がなが～く続く
●稲への安全性が高い

JAグループ
農協 全農 経済連
全国本部・県本部
®は登録商標 第1902445号

北興化学工業株式会社
〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町4-4-20
http://www.hokkochem.co.jp/

省力タイプの
高性能一発処理除草剤
シリーズ
問題雑草を一掃!!

投げ込み用 水稲用一発処理除草剤
マサカリ
ジャンボ
投げ込むだけ!!

水稲用初・中期一発除草剤
ダイナマン
フロアブル
1キロ粒剤75
ダイナマンにお任せ!!

水稲用初・中期一発除草剤
ダイナマンD
1キロ粒剤51
時代はもうダイナマンD

●使用前にはラベルをよく読んでください。
●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
＊空容器は圃場に放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。

日本農薬株式会社
東京都中央区日本橋1丁目2番5号
ホームページアドレス http://www.nichino.co.jp/

最新 除草剤・生育調節剤解説2002年版

企画・編集／財団法人　日本植物調節剤研究協会
B5版、208ページ
定価（本体価格5,000円＋消費税）

この2002年版には水田除草剤24剤、畑地除草剤2剤を収録しました。このほか、2000年版（1,000円）、1999年版（5,000円）、1998年版（5,000円）も発売中。（価格はいずれも本体価格）

全国農村教育協会　〒110-0016　東京都台東区台東1-26-6
TEL03-3833-1821　FAX03-3833-1665

財団法人　日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話　(03)3832-4188（代）
FAX　(03)3833-1807

平成16年2月発行　定価525円（本体500円＋消費税25円）
植調第37巻第11号　（送料 270円）

編集人　日本植物調節剤研究協会　会長　小林　仁
発行人　植調編集印刷事務所　広田伸七

発行所　東京都台東区台東1－26－6　全国農村教育協会
植調編集印刷事務所
電話（03）3833－1821（代）
FAX（03）3833－1665
E-mail：hon@zennokyo.co.jp

印刷所　新成印刷㈲

新刊！

日本雑草学会ブックレット

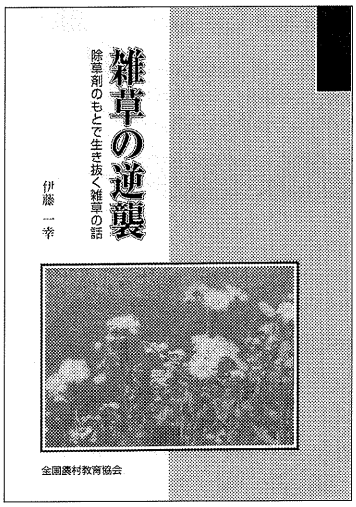
雑草の逆襲

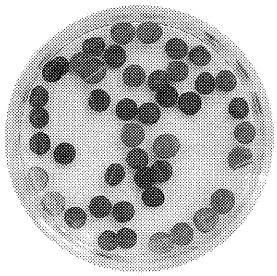
除草剤のもとで生き抜く雑草の話

伊藤 一幸／著

定　価　1,000円+税　　B6判　112ページ

除草剤で防除していた雑草が枯れなくなる事例が増えてきた。
雑草は除草剤抵抗性を獲得しながら、密かに逆襲する時を狙っていたのである。
抵抗性の現状はどうなっているのか？
どうしてそんなことが起きたのか？
抵抗性が発達するメカニズムはどうなっているのか？
筆者は自らの体験に触れながら、最新の研究成果を、わかりやすく解説し、これからの除草剤抵抗性雑草への対応を示唆する。





口絵4：桑畑のハルジオンの葉から抜いてきた円形葉片。
抵抗性の検定のために薄いパラコート液につけたもの。

目　次

桑畑で除草剤が効かなくなってしまった話
キク科植物にパラコート抵抗性が集中したのはなぜか？
田んぼの草が枯れなくなった話
ALS阻害型抵抗性の作用機作と検定法の開発
海外における抵抗性研究
抵抗性雑草が拡散するための要因
除草剤抵抗性の分子生物学
除草剤の必要性と抵抗性雑草対策

全国農村教育協会

〒110-0016　東京都台東区台東1-26-6
電話 03-3833-1821　FAX 03-3833-1665
ホームページ　http://www.zennokyo.co.jp
E メ ー ル　hon@zennokyo.co.jp

難防除雑草
対策の新製品

サラブレッド® RXフロアブル

イッテツ® フロアブル

期待の新製品

使いやすさの大本命
サラブレッド® フロアブル

ノビエ3葉期
まで使える
アピロ イーグル® フロアブル

ポ～ンと手軽に
クラッシュ® EX ジャンボ

安定した効果の
初中期一発剤
ドニチ® 1キロ粒剤

大好評の既存剤

ザ・ワン® フロアブル 1キロ粒剤

キックバイ® 1キロ粒剤

アワード® フロアブル

ロンゲット® フロアブル

シェリフ® 1キロ粒剤

バトル® 1キロ粒剤

クラッシュ® 1キロ粒剤

リーディング® ジャンボ

住化武田農業株式会社
〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目13番10号

DUPONT®

The miracles of science™

デュポン株式会社 農業製品事業部

東京本社 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1アルコタワー TEL.03-5434-6117

大阪支社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀2-1-1 江戸堀センタービル4階 TEL.06-6449-3961

名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館13階 TEL.052-571-7730

札幌事務所 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2 札幌HSビル11階 TEL.011-251-3752

仙台事務所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル2階 TEL.022-267-5326

福岡事務所 〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出東京海上ビルディング6階 TEL.092-761-7871

植調第二十七巻第十号（通巻第三百二十号）
平成十六年二月発行

豆つぶ®除草剤
パットフル®エース
新発売
250グラム・L250グラム
水稲用初・中期一発処理剤
やや深めの水深で散布!!
豆まき感覚カンタン除草
しつこい草にもエースの効き目!
実物大写真（製剤）
大型圃場では動力散布機をご利用ください!
自然に学び自然を守る クミカ
®はクミアイ化学工業(株)の登録商標です。
●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
JAグループ 農協 全農 全国本部・県本部 経済連
クミアイ化学工業株式会社
本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5131
MY-100

いのちの輝きを見つめる
Meiji
私たちは、夢と楽しさ、いのちの輝きを大切にし、
世界の人々の心豊かなくらしに、貢献します。
Agricultural Chemicals
Foods
Pharmaceu-ticals
天然物で確実除草
ハービー®液剤
明治製菓株式会社
104-8002 東京都中央区京橋2-4-16
http://www.meiji.co.jp/nouyaku